

健康日本21 歯の健康

健康日本21 各論

1. 栄養・食生活
2. 身体活動・運動
3. 休養・こころの健康
4. たばこ
5. アルコール
6. 歯の健康
7. 糖尿病
8. 循環器病
9. がん

健康日本21 歯の健康

(1) 歯の喪失の防止(咀嚼機能の維持)

歯の喪失防止の目標

- ・ 80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合及び60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加

目標値：80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合

20%以上

60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合

50%以上

基準値：20歯以上の自分の歯を有する者 75～84歳 11.5%

24歯以上の自分の歯を有する者 55～64歳 44.1%

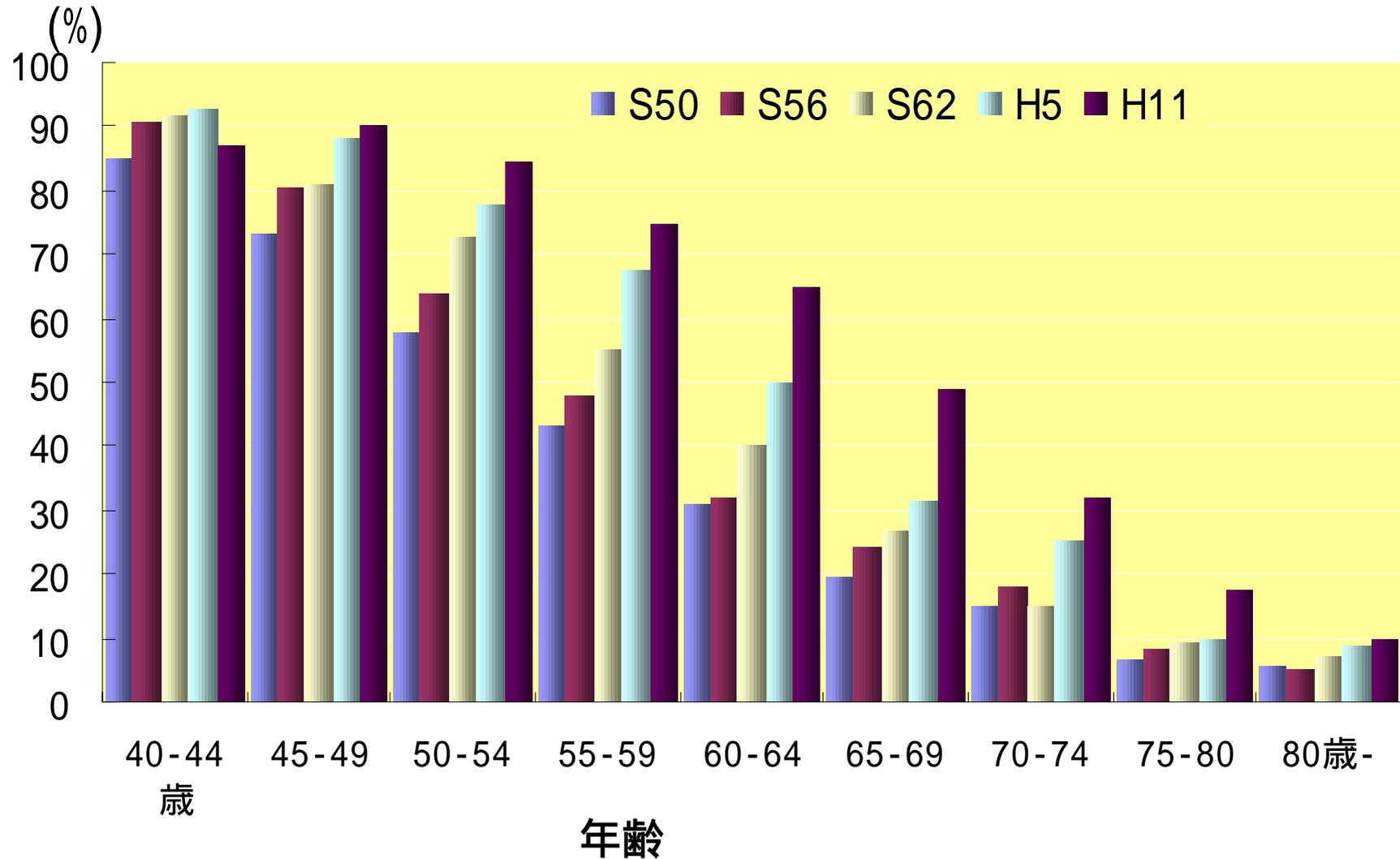
(平成5年歯科疾患実態調査)

現状値：20歯以上の自分の歯を有する者 75～84歳 15.3%

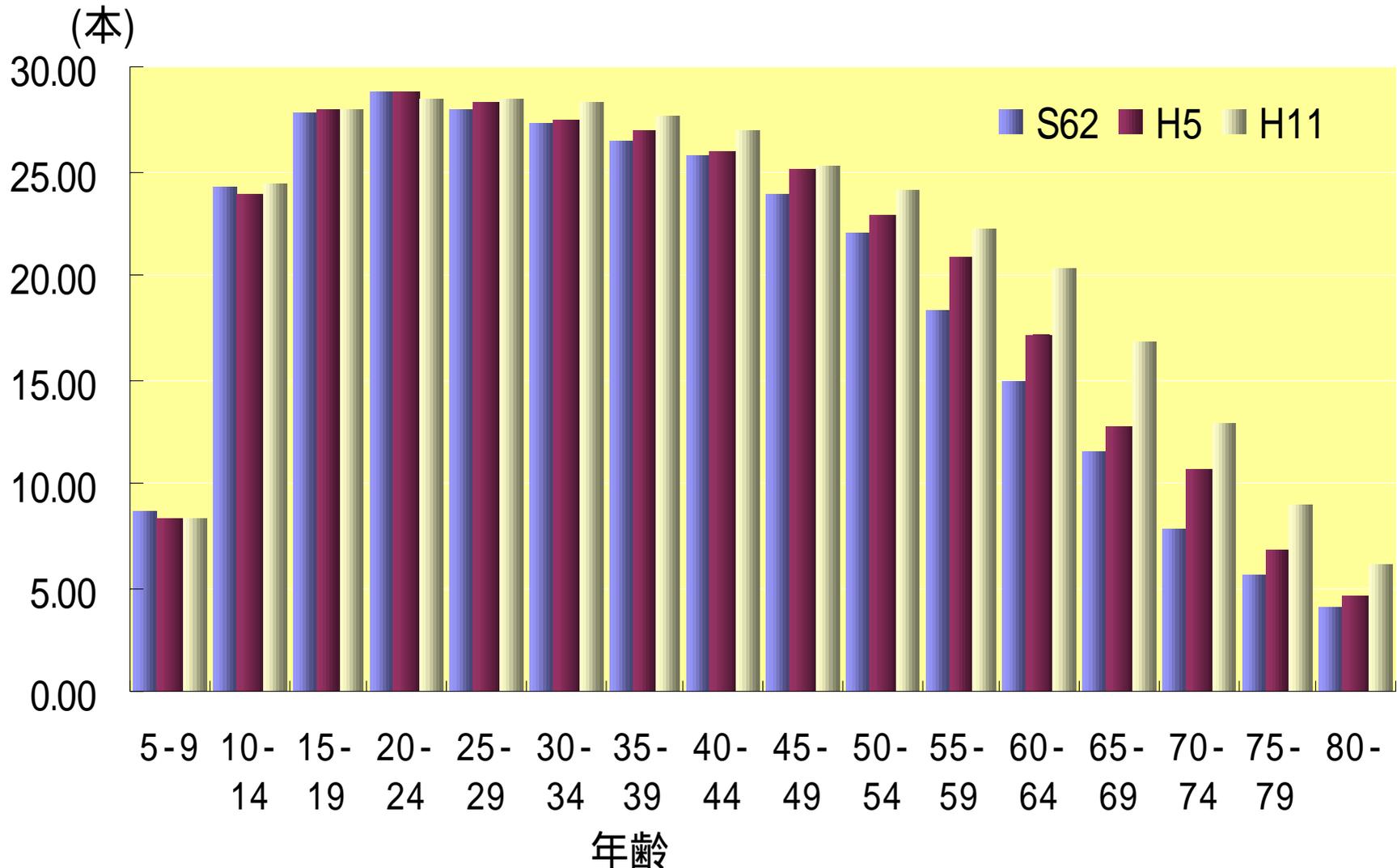
24歯以上の自分の歯を有する者 55～64歳 53.2%

(平成11年歯科疾患実態調査)

年齢階級別の20歯以上保有率



年齢階級別の現在歯数



健康日本21 歯の健康

(1) 歯の喪失の防止(咀嚼機能の維持)

リスク低減目標(歯の喪失防止)

- ・定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合の増加

目標値:定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合**30%以上**

参考値:過去1年間に歯石除去等を受けた者 55~64歳 **15.9%**

(平成4年寝屋川市調査)

参考値:過去1年間に歯石除去等を受けた者 60~69歳 **38.6%**

(平成11年厚生科学研究宮武班報告大阪府、兵庫県の市町村5地区)

- ・定期的に歯科検診を受けている者の割合の増加

目標値:定期的に歯科検診を受けている者の割合 **30%以上**

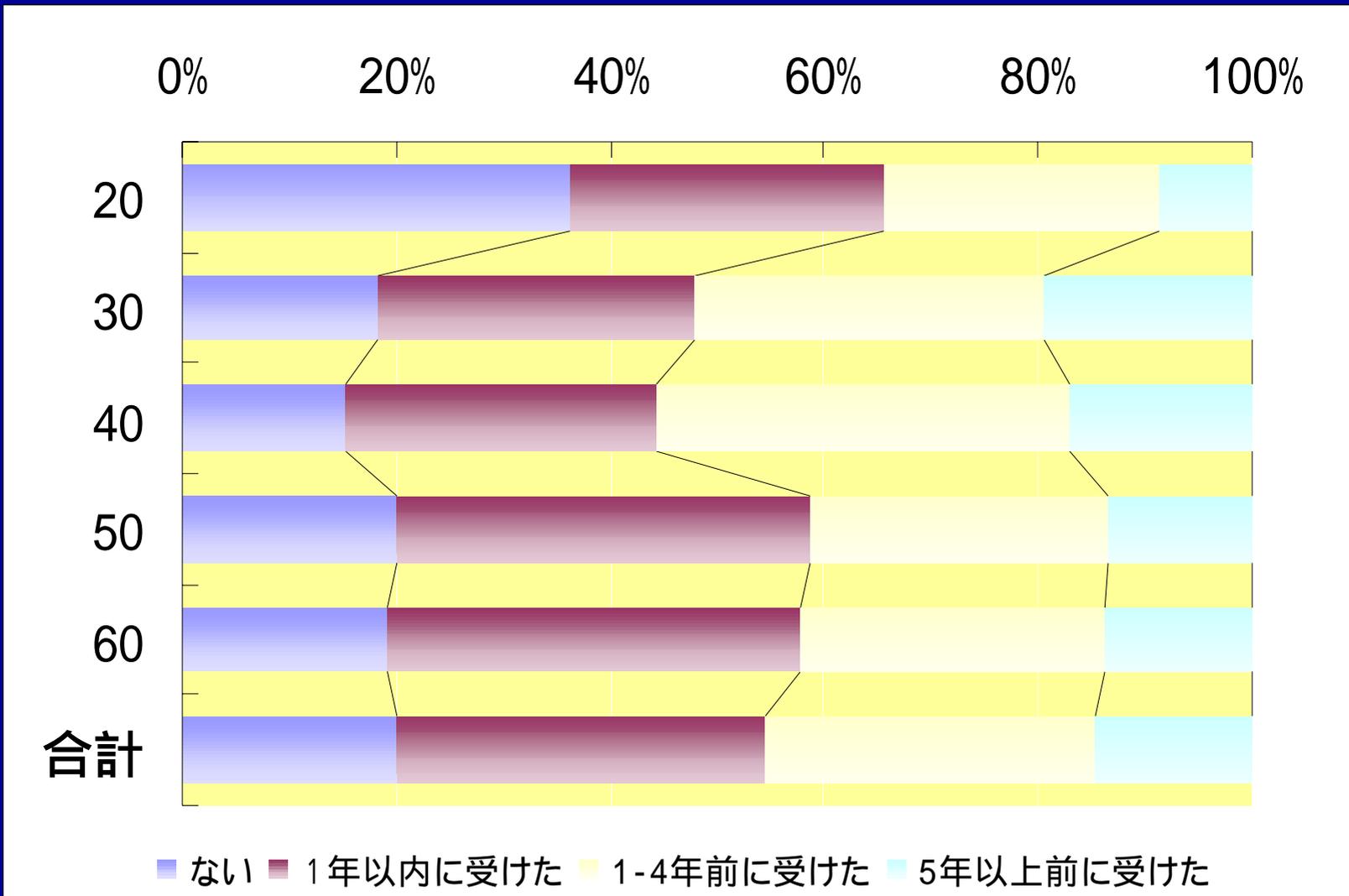
基準値:過去1年間に歯科検診を受けた者 55~64歳 **16.4%**

(平成5年保健福祉動向調査)

現状値:過去1年間に歯科検診を受けた者 55~64歳 **18.6%**

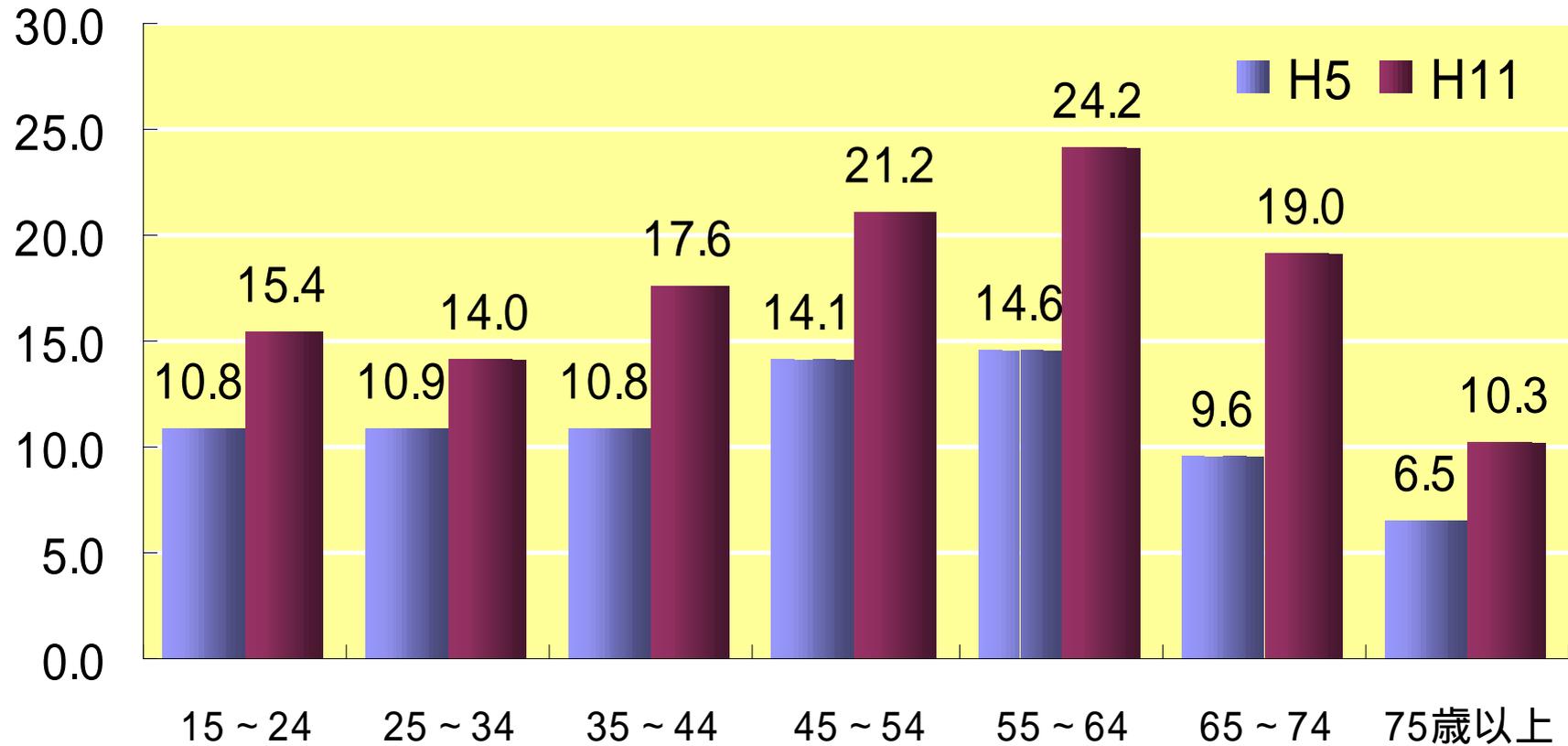
(平成11年保健福祉動向調査)

過去1年間に歯石除去等を受けた者の割合



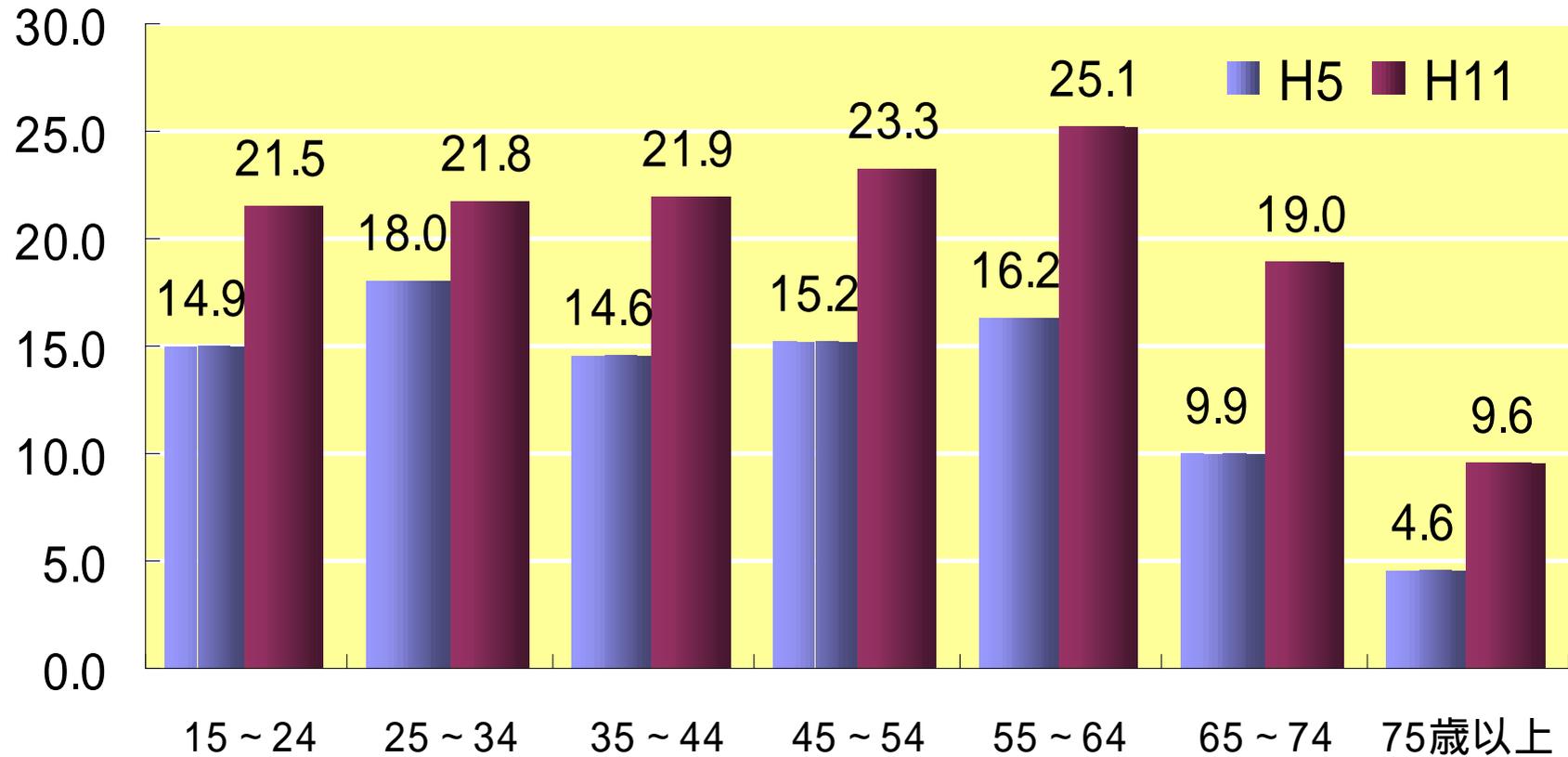
(平成11年厚生科学研究宮武班報告大阪府、兵庫県の市町村5地区)

年代別過去1年間歯ブラシ指導を受けた者の割合(男)



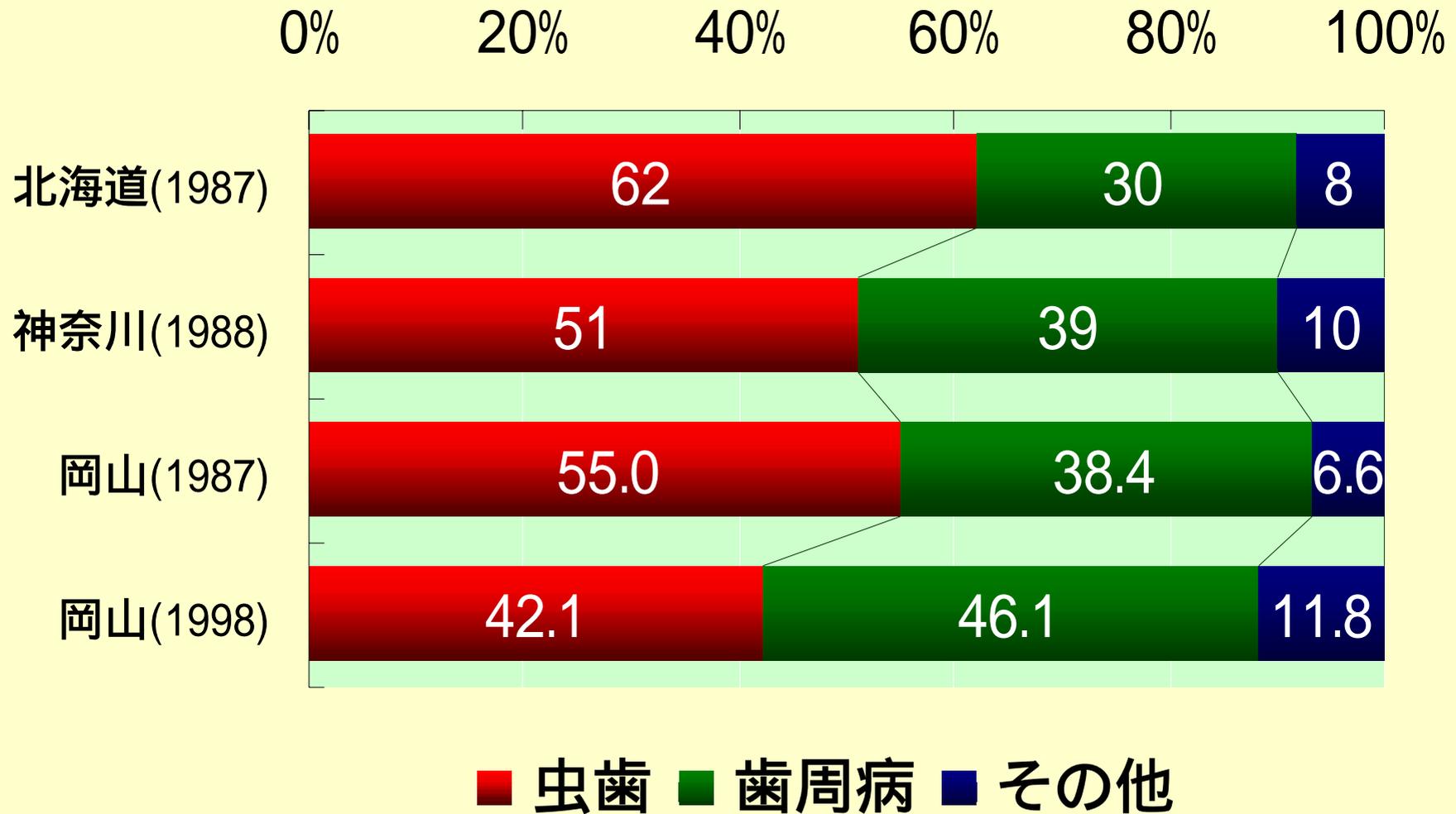
平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

年代別過去1年間歯ブラシ指導を受けた者の割合(女)



平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

抜歯理由



健康日本21 歯の健康

(2) 幼児期のう蝕予防

幼児期のう蝕予防の目標

- ・ 3歳児におけるう歯のない者の割合の増加

目標値: 3歳児におけるう歯のない者の割合 **80%以上**

基準値: う歯のない者の割合 3歳児 **59.5%**

(平成10年度3歳児歯科健康診査結果)

現状値: う歯のない者の割合 3歳児 **62.2%**

(平成11年度3歳児歯科健康診査結果)

う蝕を表す指標

$$\text{う蝕有病者率} = \frac{\text{う蝕を有する者の人数}}{\text{調査対象者の人数}} \quad (\%)$$

$$\text{一人平均う蝕本数} = \frac{\text{う蝕数}}{\text{調査対象者の人数}} \quad (\text{本})$$

特に、乳歯の場合はdft、永久歯の場合はDMFTと表す。

D: decayed (蝕まれた) = 未処置歯

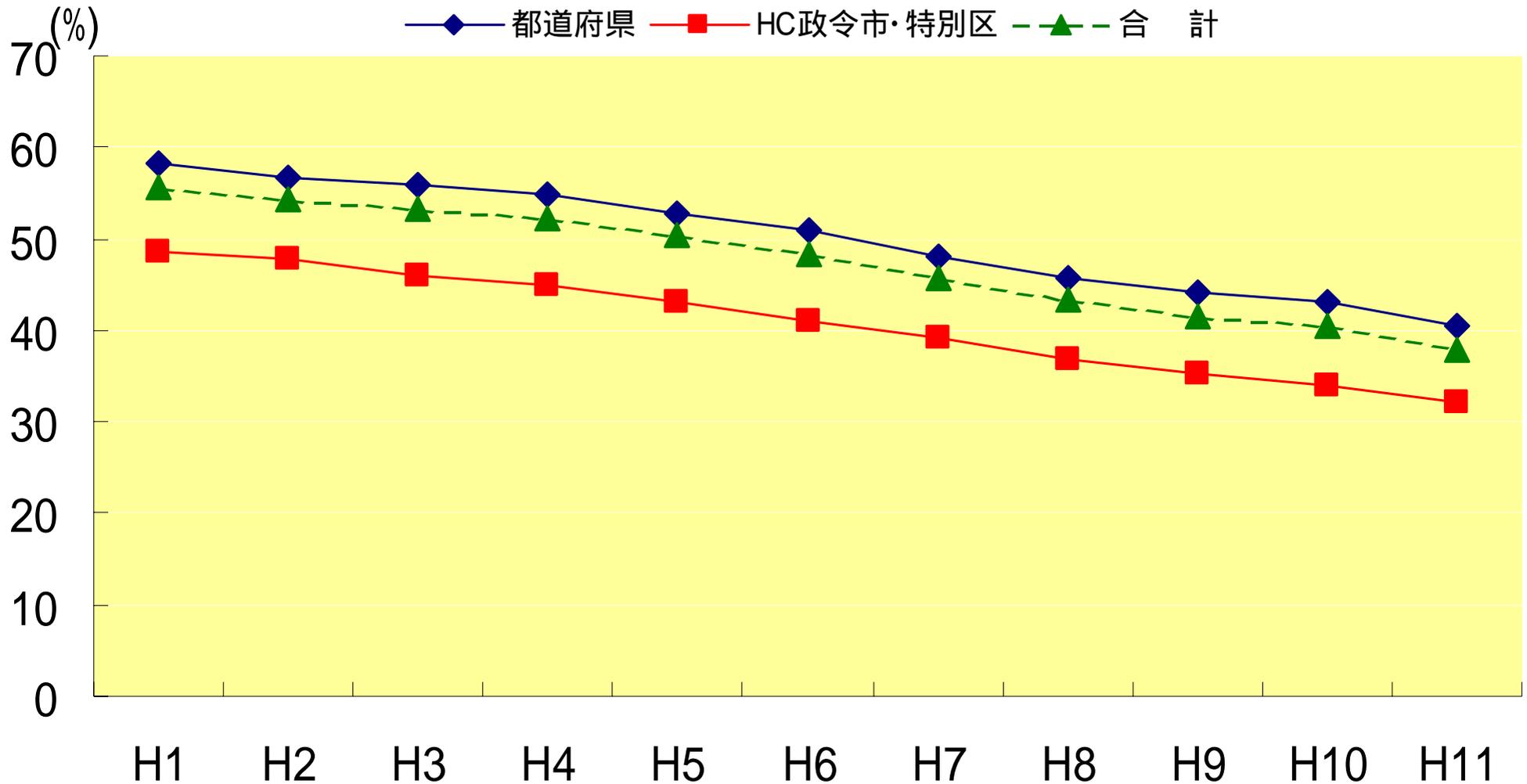
M: missing (失われた) = 喪失歯

F: filled (詰められた) = 処置歯

であり、大文字が永久歯を、小文字が乳歯を表す。

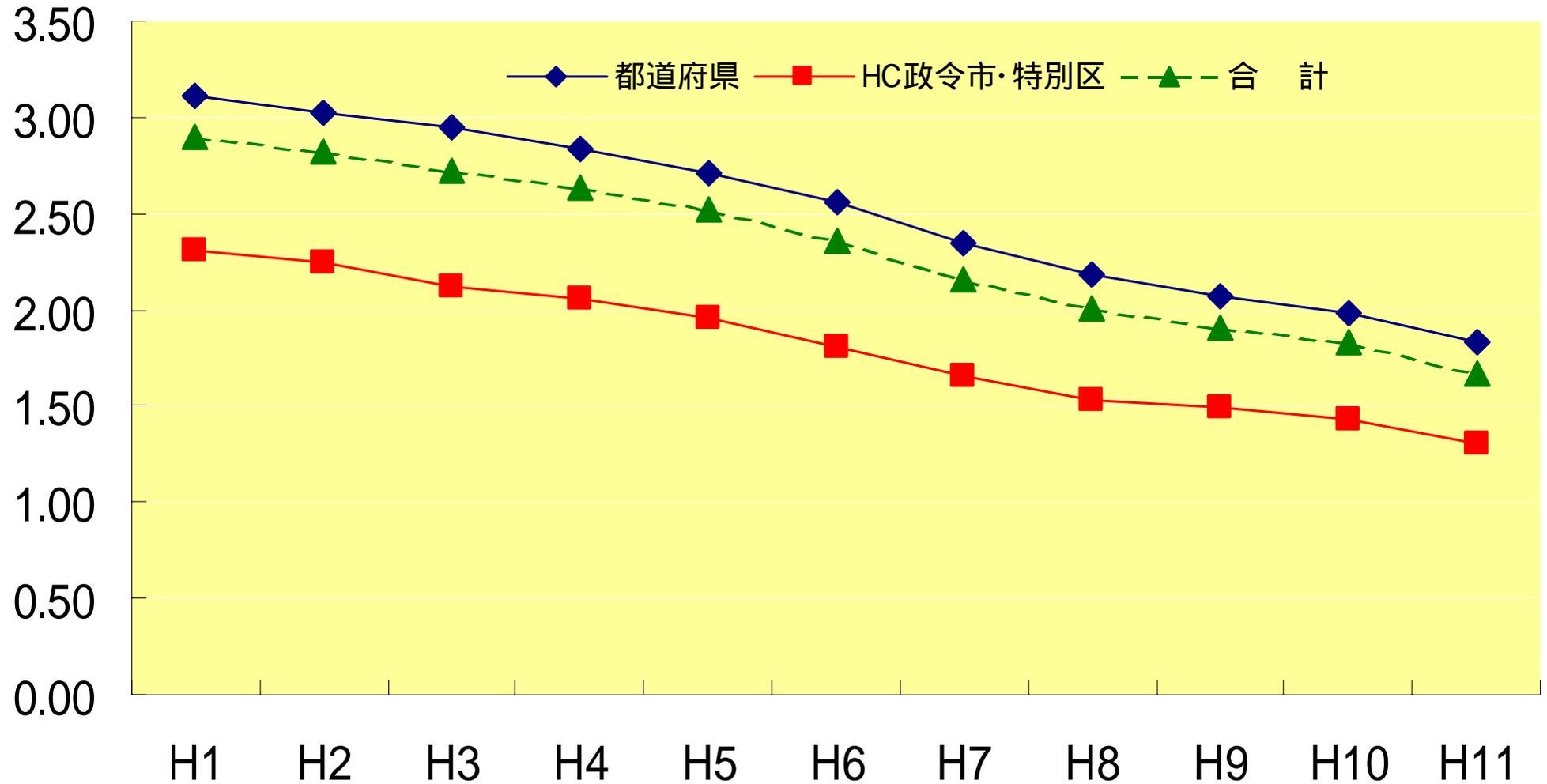
う蝕は、これらの総数で表されるため、う蝕経験を表し、減少することはない。

3歳児う蝕有病者率の変化



都道府県とは、保健所を設置する市(政令指定都市、中核市、地域保健法施行令で定められた市および特別区)を除いた市町村から算出したもの

3歳児一人平均う蝕本数(dft)の変化



健康日本21 歯の健康

(2) 幼児期のう蝕予防

リスク低減目標

- ・ 3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加

目標値：3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合
50%以上

基準値：フッ化物塗布経験のある者 3歳児 **39.6%**

(平成5年歯科疾患実態調査)

現状値：フッ化物塗布経験のある者 3歳児 **52.3%**

(平成11年歯科疾患実態調査)

- ・ 間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の割合の減少

参考値：1日3回以上の間食をする者 1歳6か月児 **29.9%**

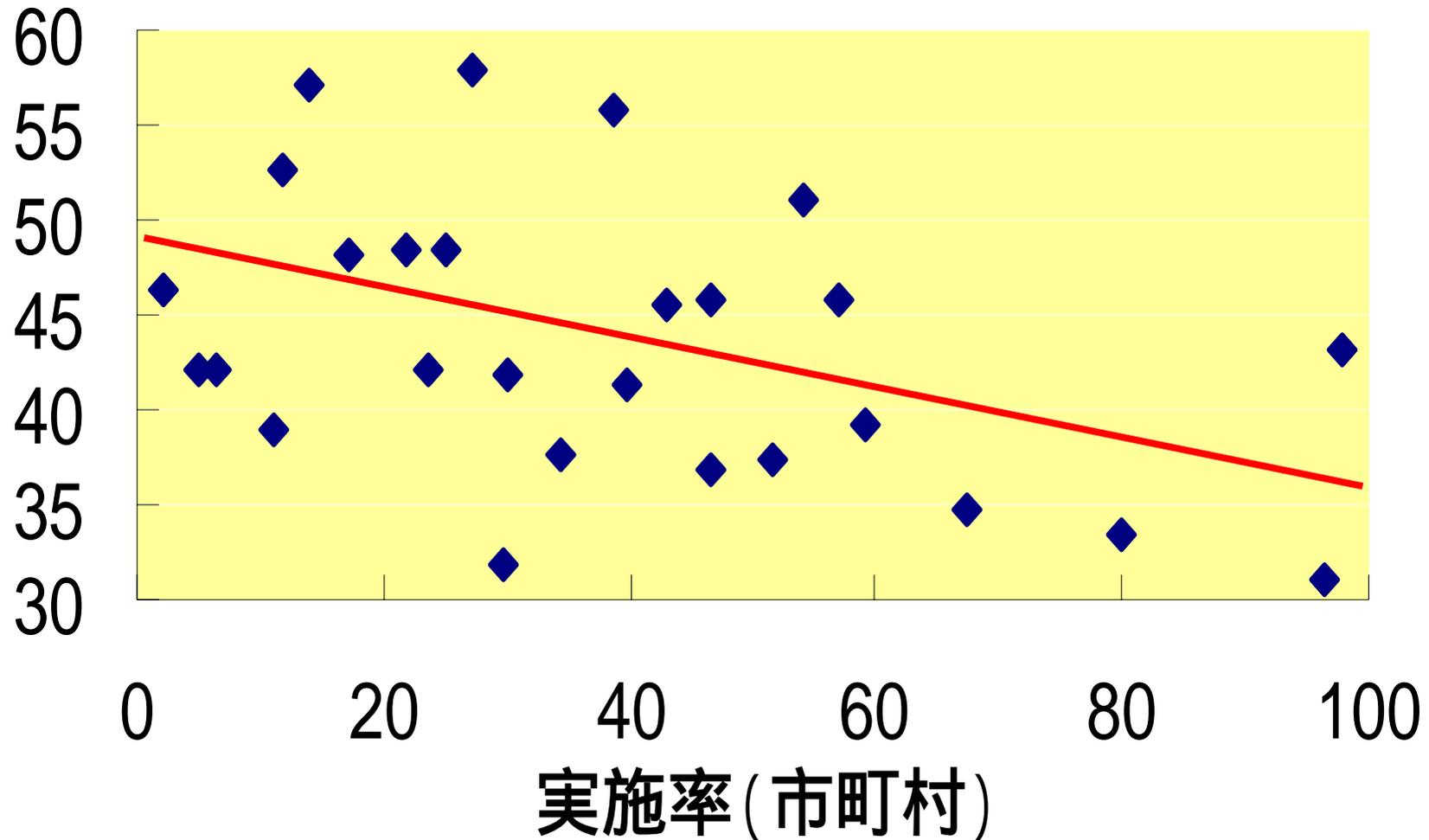
(久保田らによる調査、平成3年)

参考値：1日3回以上の間食をする者 幼児 **13.2%** (滋賀県、平成11年)

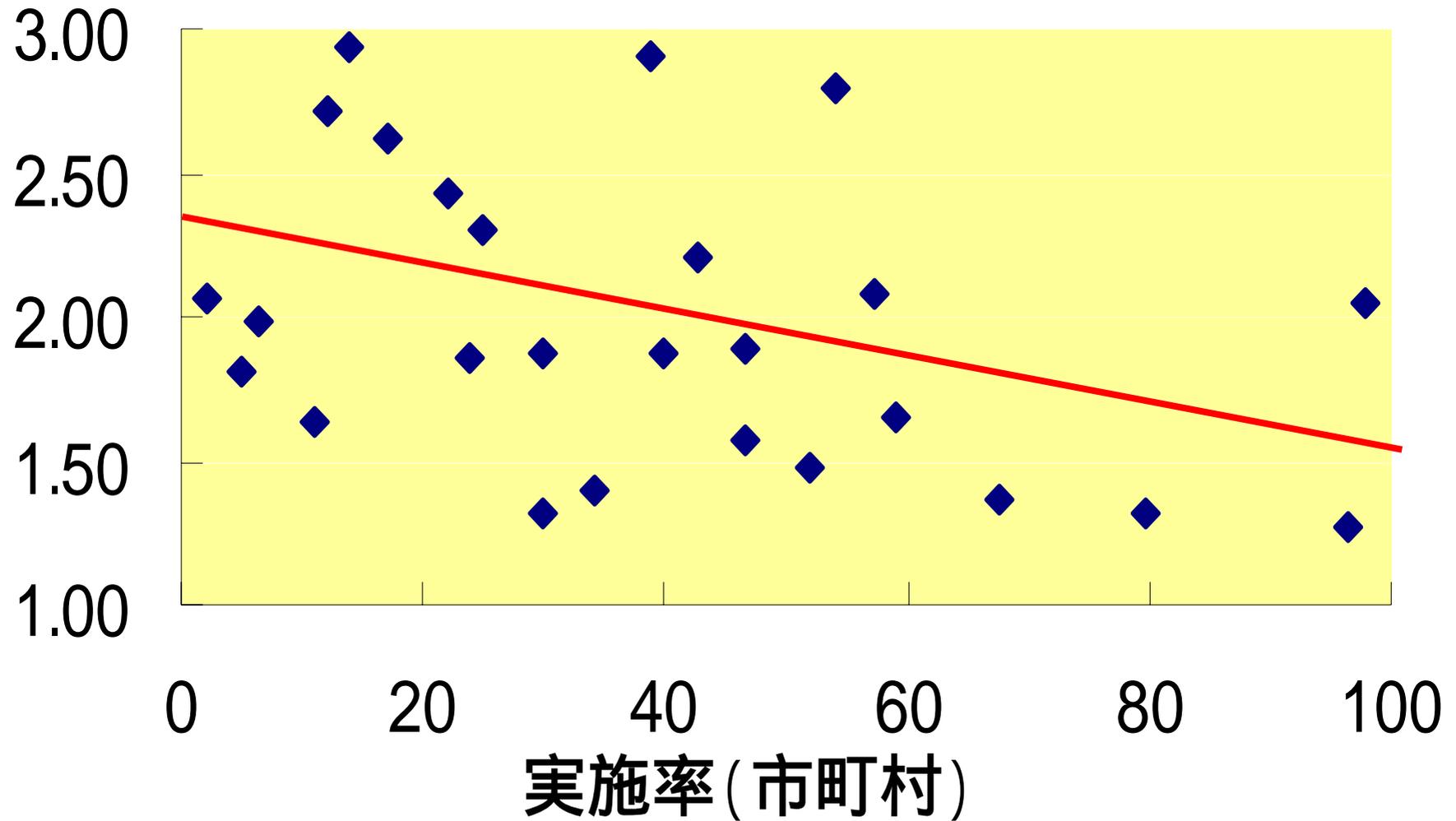
1歳6か月児 **14.9%** (千葉県、平成12年)

3歳児 **12.0%** (千葉県、平成12年)

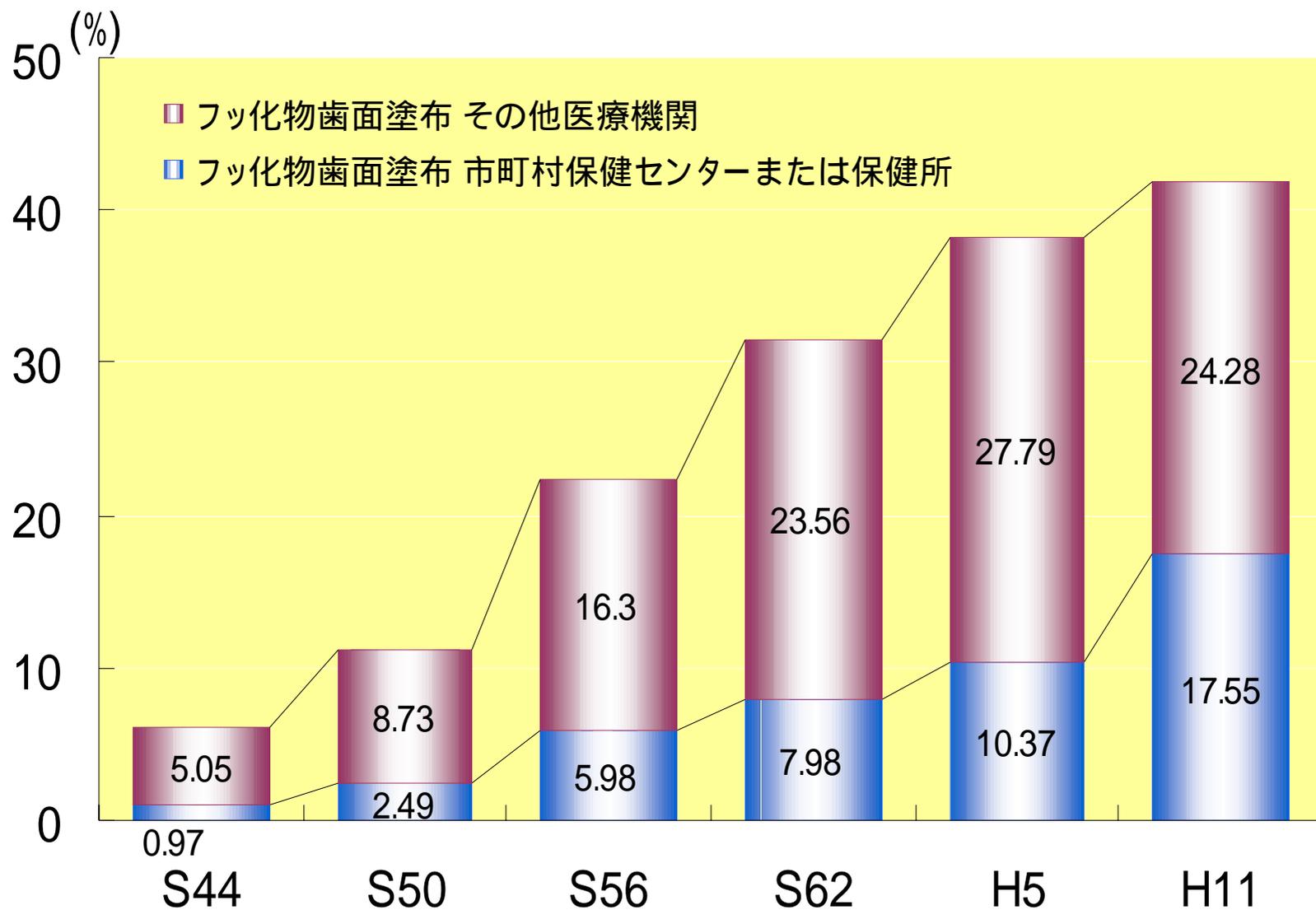
都道府県別の幼児歯科予防処置実施率が 3歳児う蝕有病者率に与える影響



都道府県別の幼児歯科予防処置実施率が 3歳児一人平均う蝕本数(dft)に与える影響



フッ化物塗布受診者の年次推移



健康日本21 歯の健康

(3) 学齡期のう蝕予防等

学齡期のう蝕予防の目標

- ・ 12歳児における1人平均う歯数(DMF歯数)の減少

目標値: 12歳児における1人平均う歯数(DMF歯数) **1歯以下**

基準値: 1人平均う歯数 12歳児 **2.9歯**

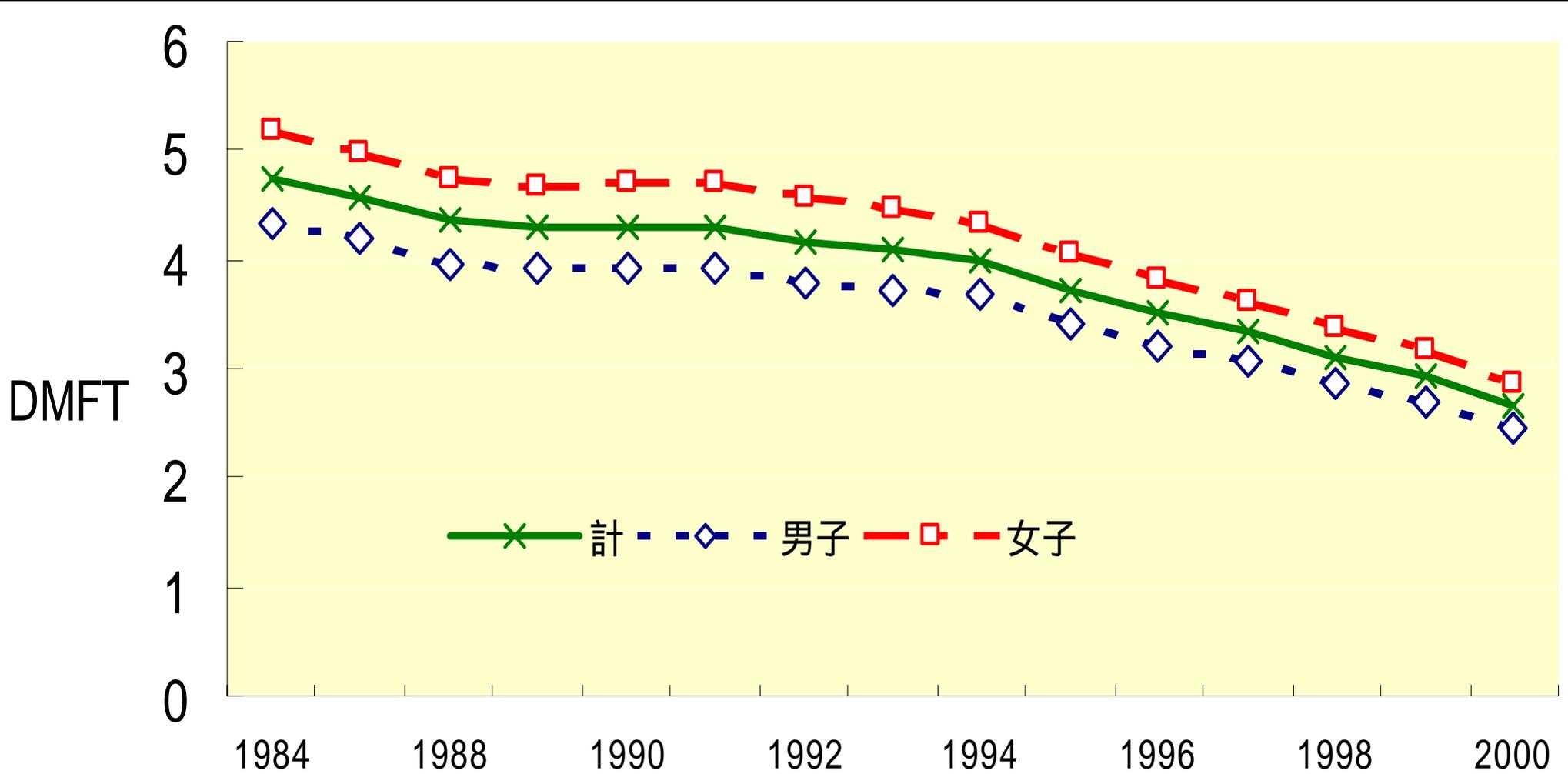
(平成11年学校保健統計調査)

現状値: 1人平均う歯数 12歳児

2.7歯

(平成12年学校保健統計調査)

12歳DMFTの変化(学校保健統計)



12歳児DMFTの性差

	現在歯数	DMFT
男	22.94	2.10
女	23.30	2.76
総数	23.13	2.44

健康日本21 歯の健康

(3) 学齢期のう蝕予防等

リスク低減目標

- 学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加

目標値：学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合 **90%以上**

参考値：児童のフッ化物配合歯磨剤使用率 **45.6%**

(荒川らによる調査、平成3年)

現状値：なし

- 学齢期において過去1年間に個別的歯口清掃指導を受けたことのある者の割合の増加

目標値：過去1年間に個別的歯口清掃指導を受けたことのある者の割合 **30%以上**

参考値：過去1年間に歯磨き指導を受けたことのある者 15～24歳 **12.8%**

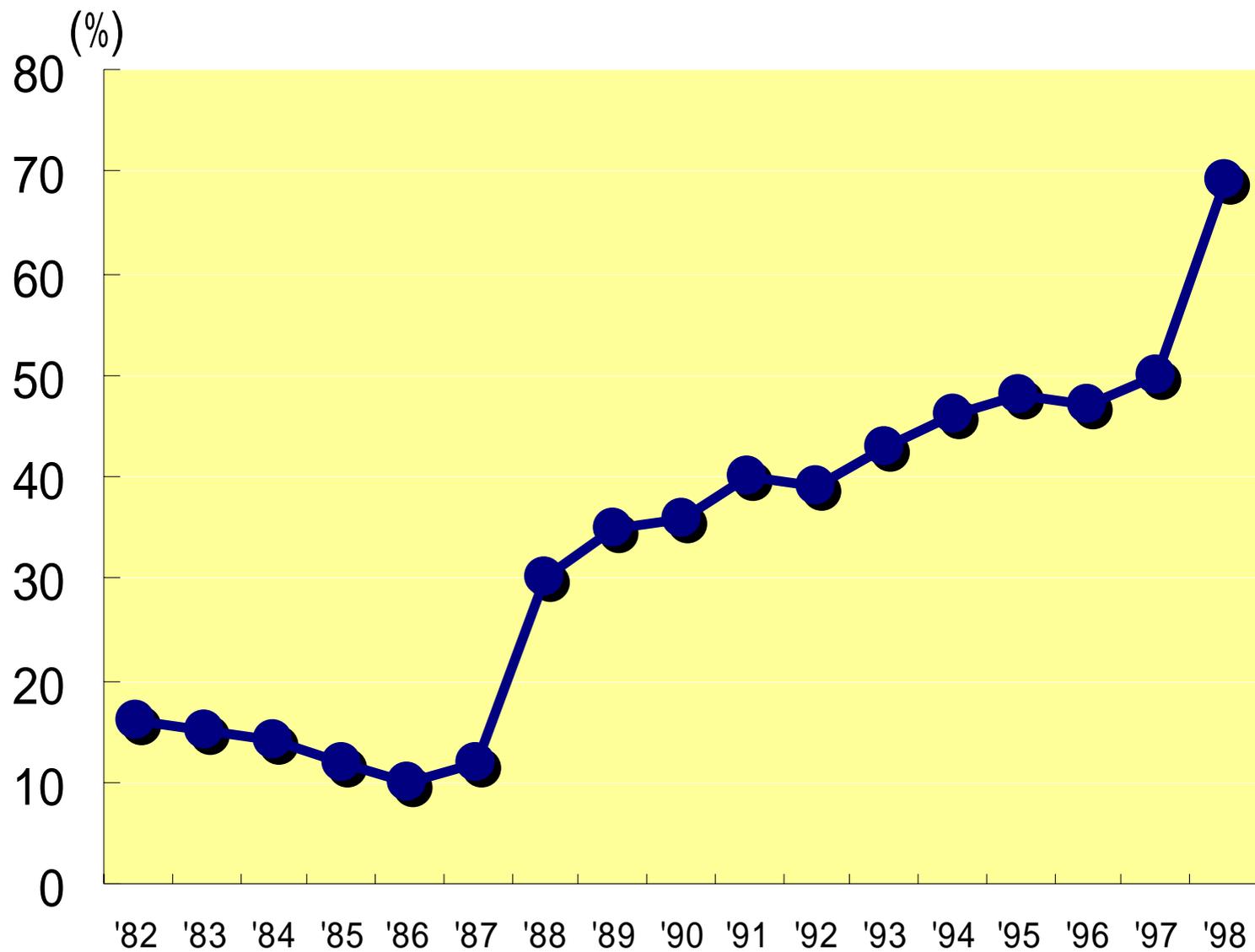
(平成5年保健福祉動向調査)

現状値：過去1年間に歯磨き指導を受けたことのある者 15～24歳

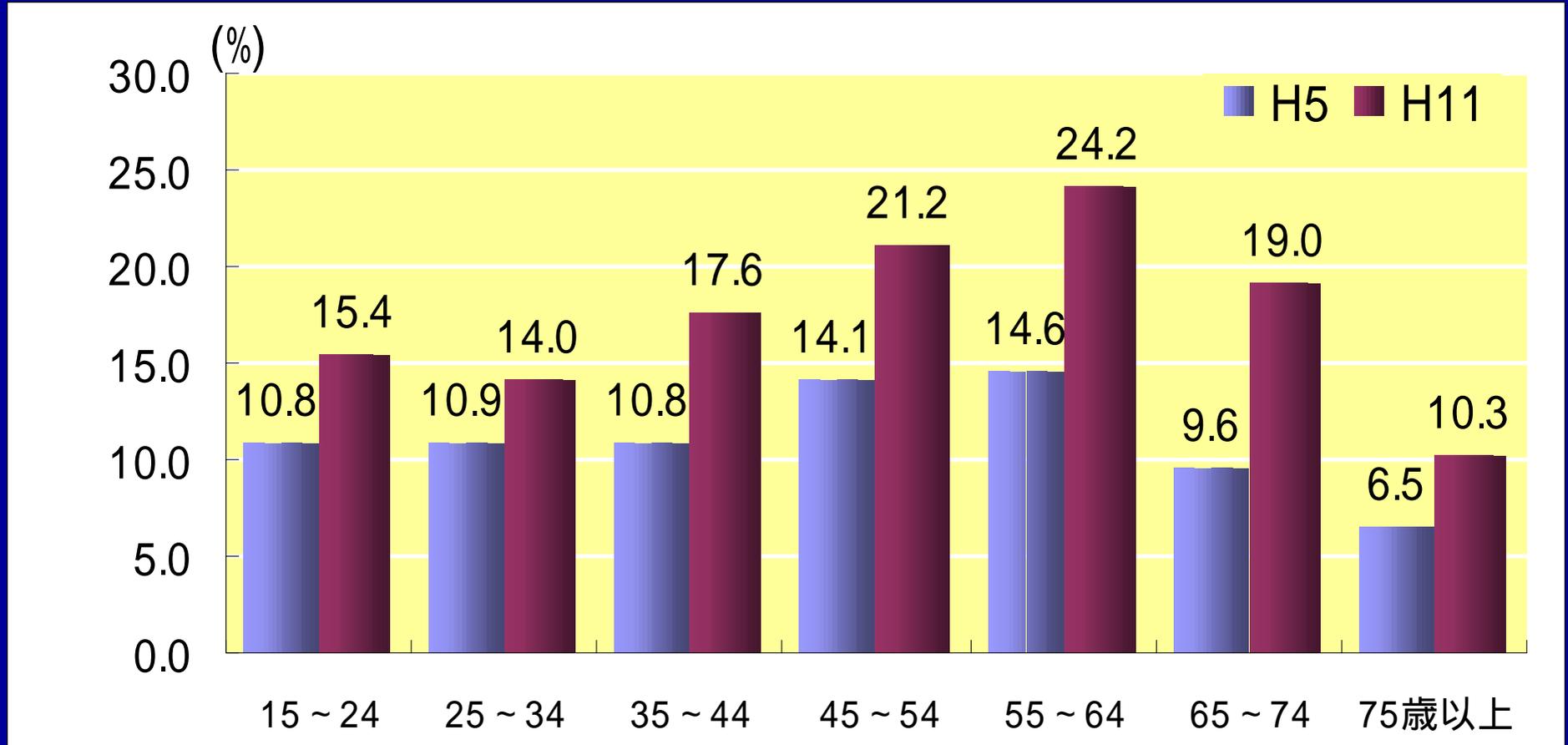
18.3%

(平成5年保健福祉動向調査)

フッ化物配合歯磨剤のシェア

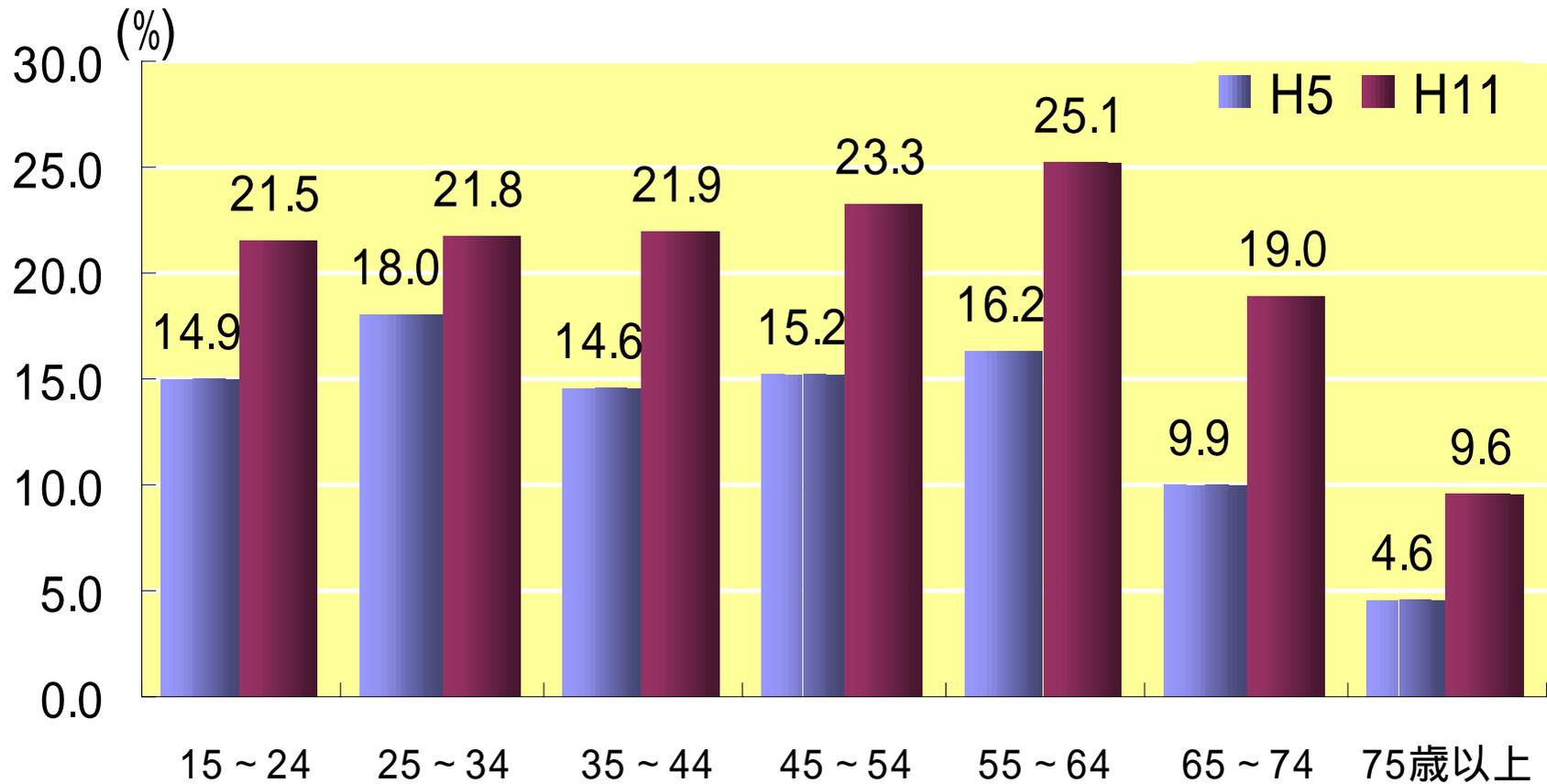


年代別過去1年間歯ブラシ指導を受けた者の割合(男)



平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

年代別過去1年間歯ブラシ指導を受けた者の割合(女)



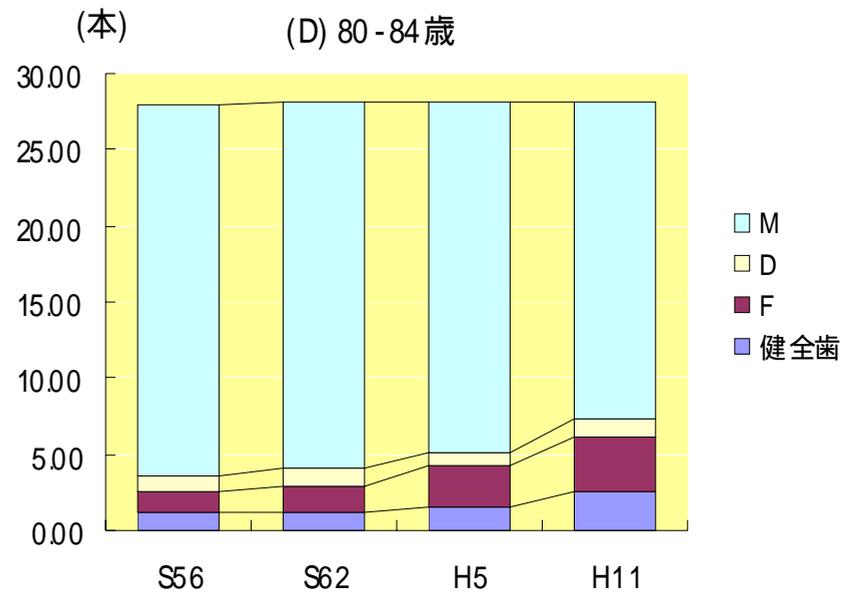
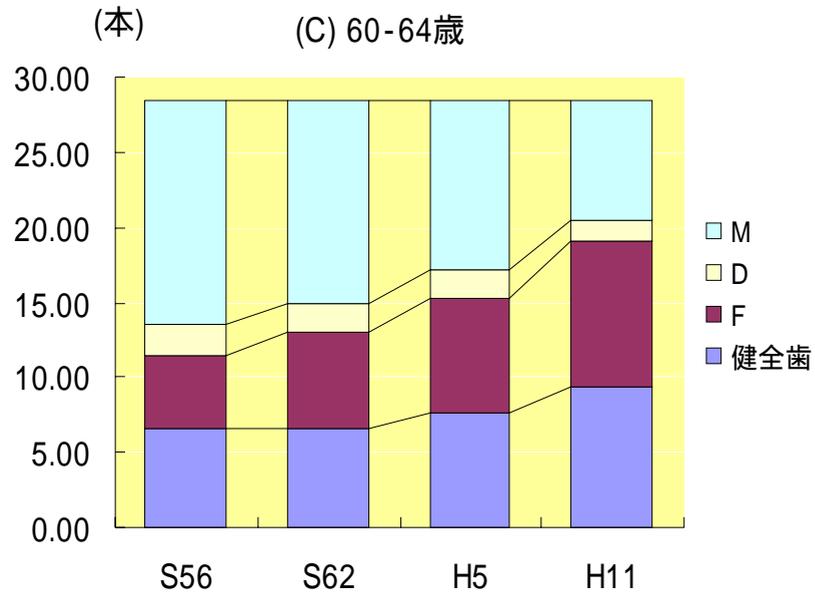
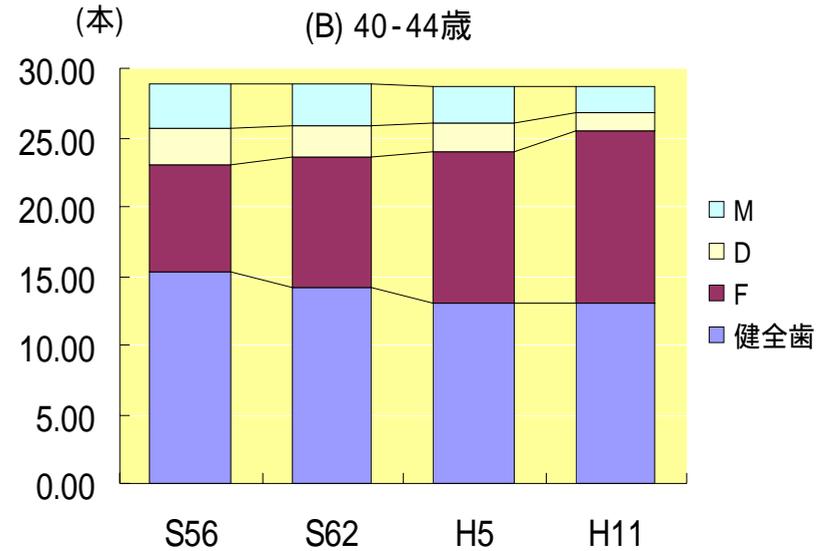
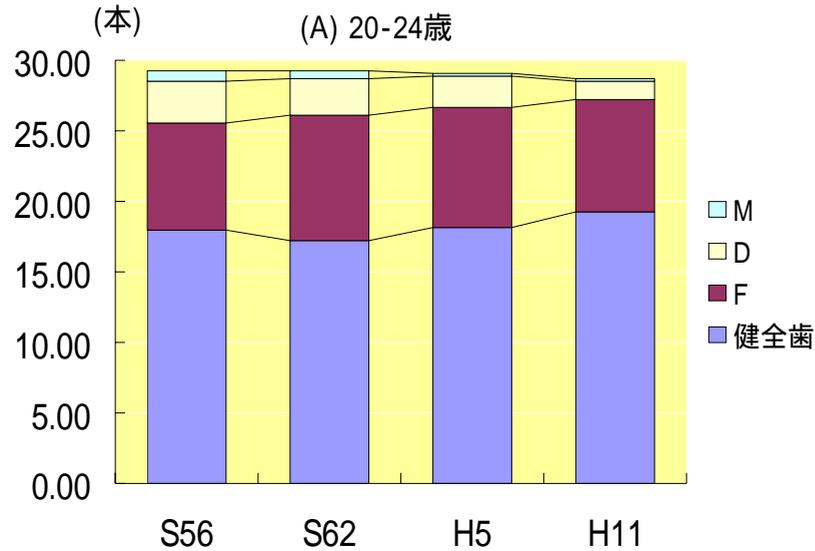
平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

1人平均むし歯数(DMF歯数)の年次推移, 年齢別(永久歯)

年齢	昭和38年	昭和44年	昭和50年	昭和56年	昭和62年	平成5年	平成11年
	1969	1969	1975	1981	1987	1993	1999
5歳	0.24	0.14	0.12	0.07	0.10	0.07	0.01
6	0.68	0.70	0.69	0.50	0.41	0.23	0.19
7	1.45	1.58	1.47	1.41	1.01	0.87	0.35
8	1.92	2.48	2.23	2.06	1.83	1.47	0.89
9	2.32	3.06	2.79	2.83	2.67	2.16	1.12
10	2.85	3.59	3.31	3.64	3.43	2.75	2.28
11	3.24	3.94	4.29	4.32	3.73	3.63	2.20
12	4.01	4.87	5.44	5.43	4.93	3.64	2.44
13	4.49	5.51	5.85	6.89	5.48	4.86	3.68
14	4.88	6.08	7.10	8.07	7.57	6.10	5.22
15-19	5.05	6.96	8.32	9.64	9.53	7.83	7.15
20-24	5.86	8.13	10.14	11.40	12.01	10.87	9.52
25-29	7.70	8.73	11.06	12.28	13.64	13.05	11.97
30-34	9.32	10.37	11.17	12.84	14.29	14.85	13.74
35-39	11.08	12.02	11.99	12.35	14.28	15.39	15.15
40-44	13.72	14.33	13.76	13.55	14.61	15.60	15.64
45-49	15.62	16.50	15.72	15.67	15.76	15.79	16.02
50-54	16.95	18.36	17.98	17.65	17.08	16.36	16.89
55-59	18.74	20.53	20.31	20.18	19.96	18.53	17.62
60-64	20.78	22.65	21.92	21.81	21.93	20.72	18.97
65-69	22.50	24.59	23.73	23.55	23.64	23.35	21.57
70-74	23.82	26.15	25.17	25.14	25.21	24.29	23.81
75-79	25.03	26.55	26.35	26.19	26.14	26.37	25.56
80-84	25.26	28.59	26.72	26.77	26.97	26.47	25.65
85歳以上						27.61	27.16

歯科疾患
実態調査

年齢階級別(抜粋)のう蝕状況の違い



健康日本21 歯の健康

(4) 成人期の歯周病予防

成人期の歯周病予防の目標

・40、50歳における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の 割合の減少

目標値:40、50歳における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合 **3割以上の減少**

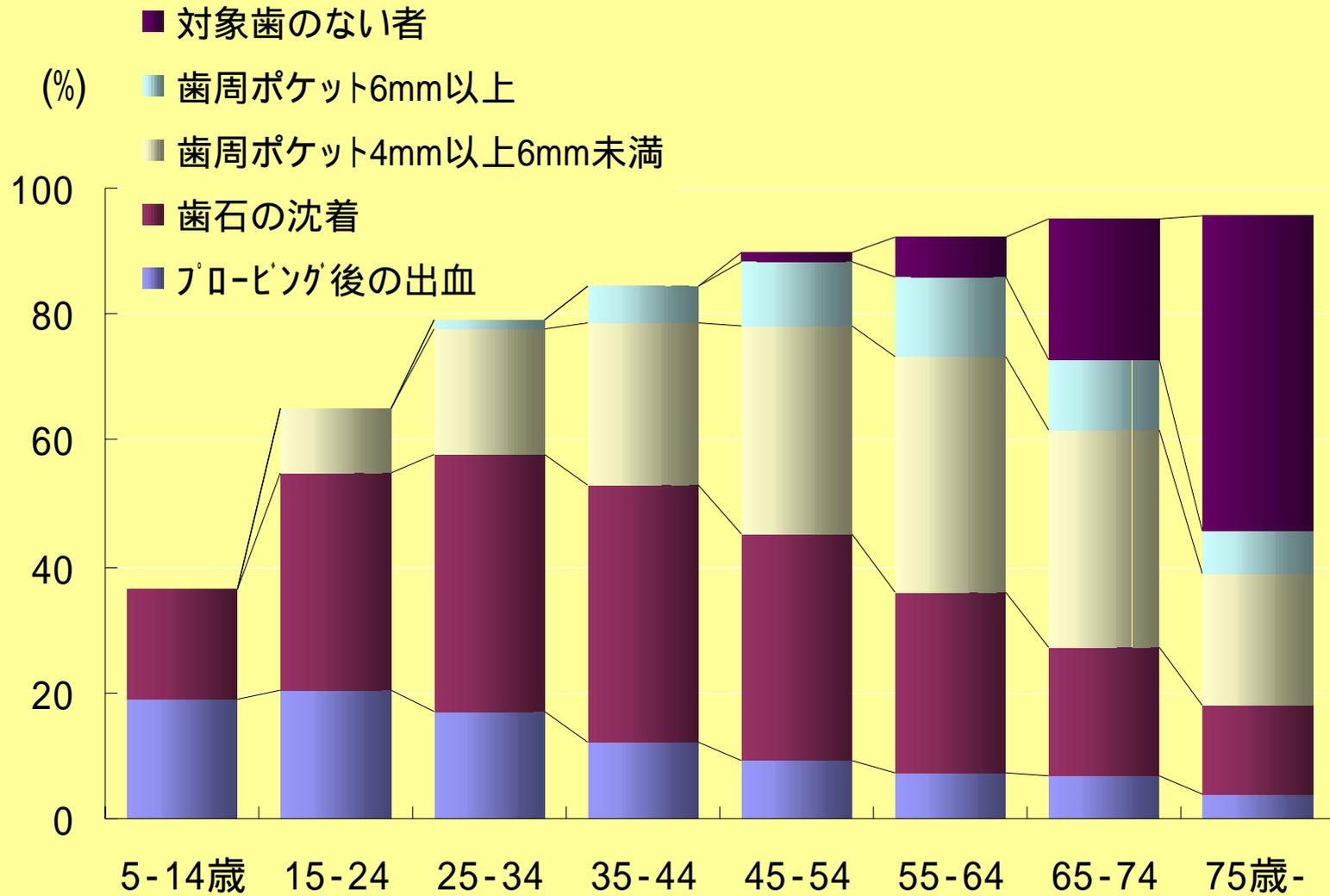
参考値:進行した歯周炎を有する者(CPIコード3以上)

40歳 **32.0%** 50歳 **46.9%** (富士宮市モデル事業 平成9~10年)

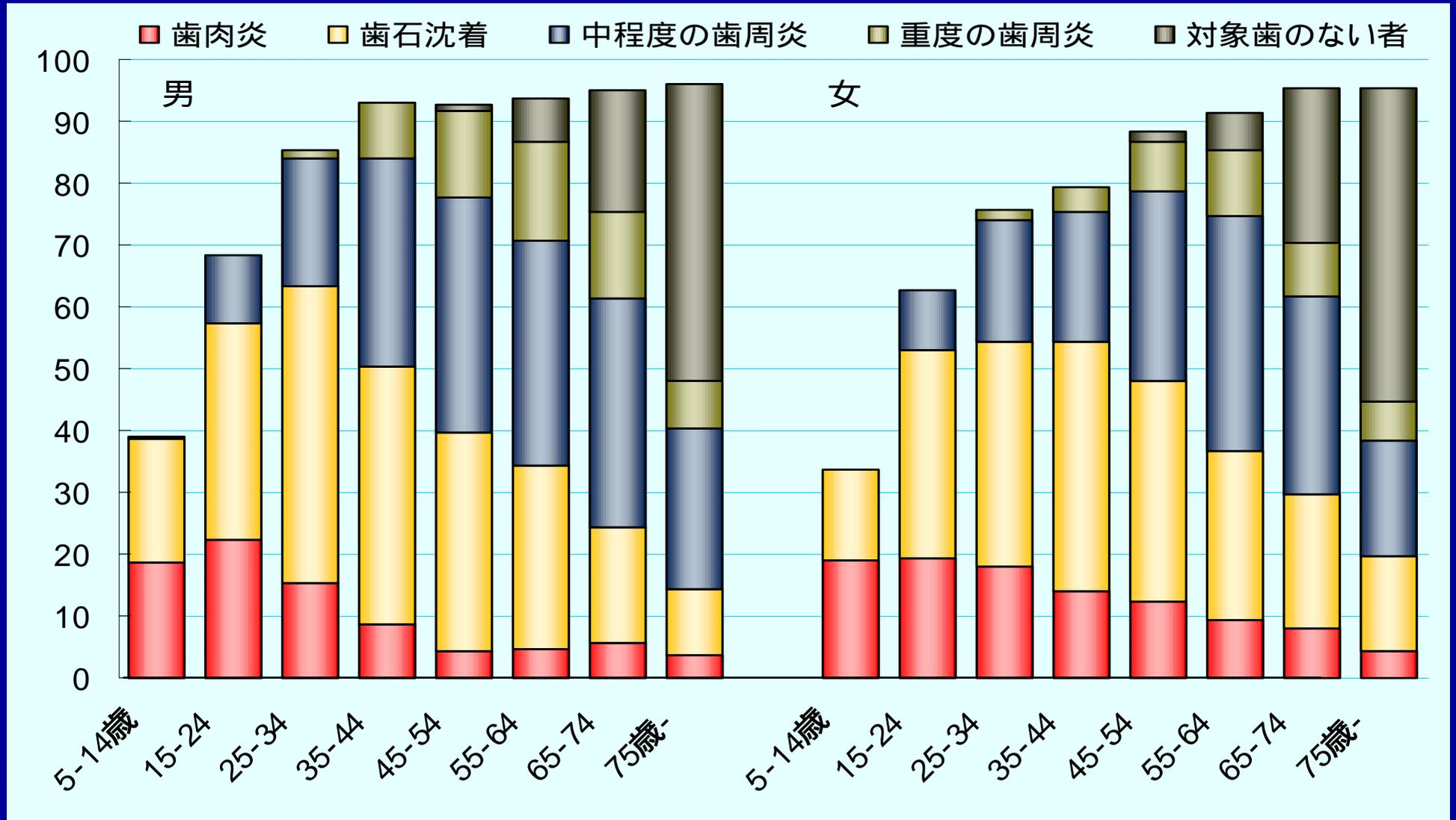
現状値:進行した歯周炎を有する者(CPIコード3以上)

35-44歳 **31.5%** 45-54歳 **43.4%** (平成11年歯科疾患実態調査)

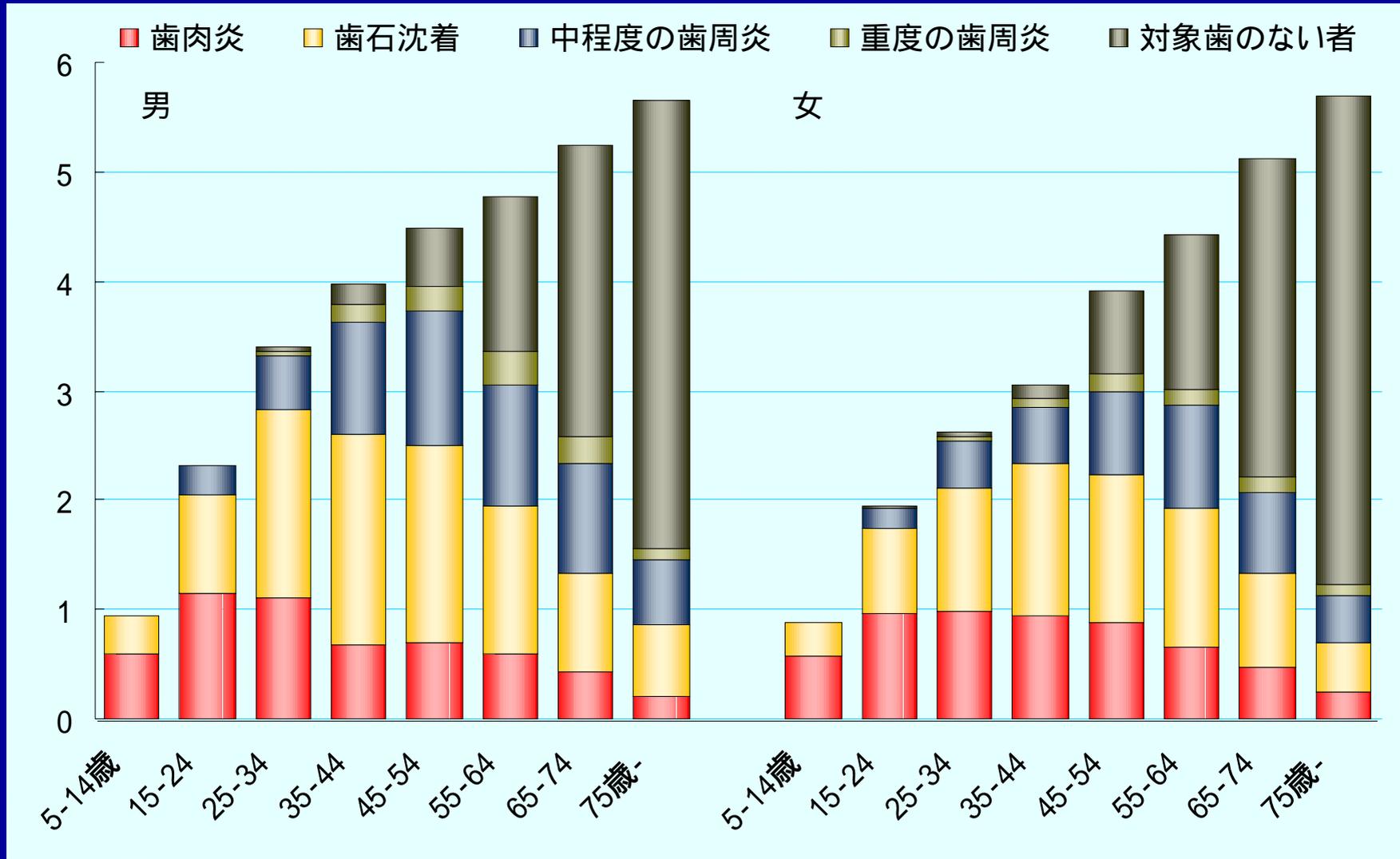
年齢階級別の歯肉の所見 (CPI、平成11年歯科疾患実態調査)



性・年齢階級別の歯肉の所見 (CPI個人最大コード)



性・年齢階級別の歯肉の所見 (CPIコード別セクスタント数)



健康日本21 歯の健康

(4) 成人期の歯周病予防

リスク低減目標

- ・ 40、50歳における歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加
目標値：40、50歳における歯間部清掃用器具を使用している者の割合
それぞれ50%以上

基準値：歯間部清掃用器具を使用している者の割合

35～44歳 19.3% 45～54歳 17.8% (平成5年保健福祉動向調査)

現状値：歯間部清掃用器具を使用している者の割合

35～44歳 32.6% 45～54歳 29.3% (平成11年保健福祉動向調査)

・ 喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及

基準値：喫煙で以下の疾患にかかりやすくなると思う人の割合

肺がん 84.5%、 ぜんそく 59.9%、 気管支炎 65.5%、 心臓病 40.5%、

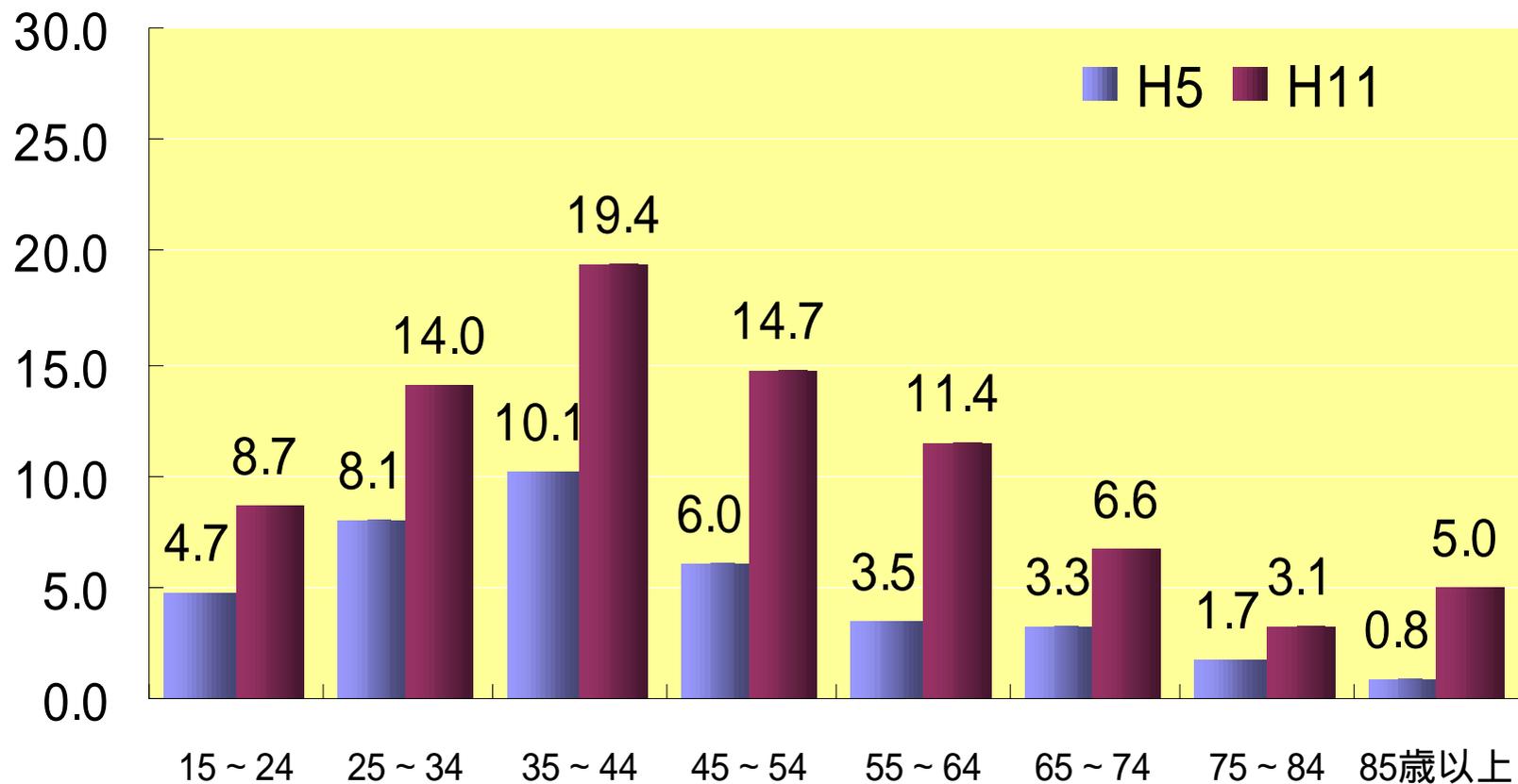
脳卒中 35.1%、 胃潰瘍 34.1%、 妊娠への影響 79.6%、 **歯周病 27.3%**

(平成10年度喫煙と健康問題に関する実態調査)

現状値：
なし

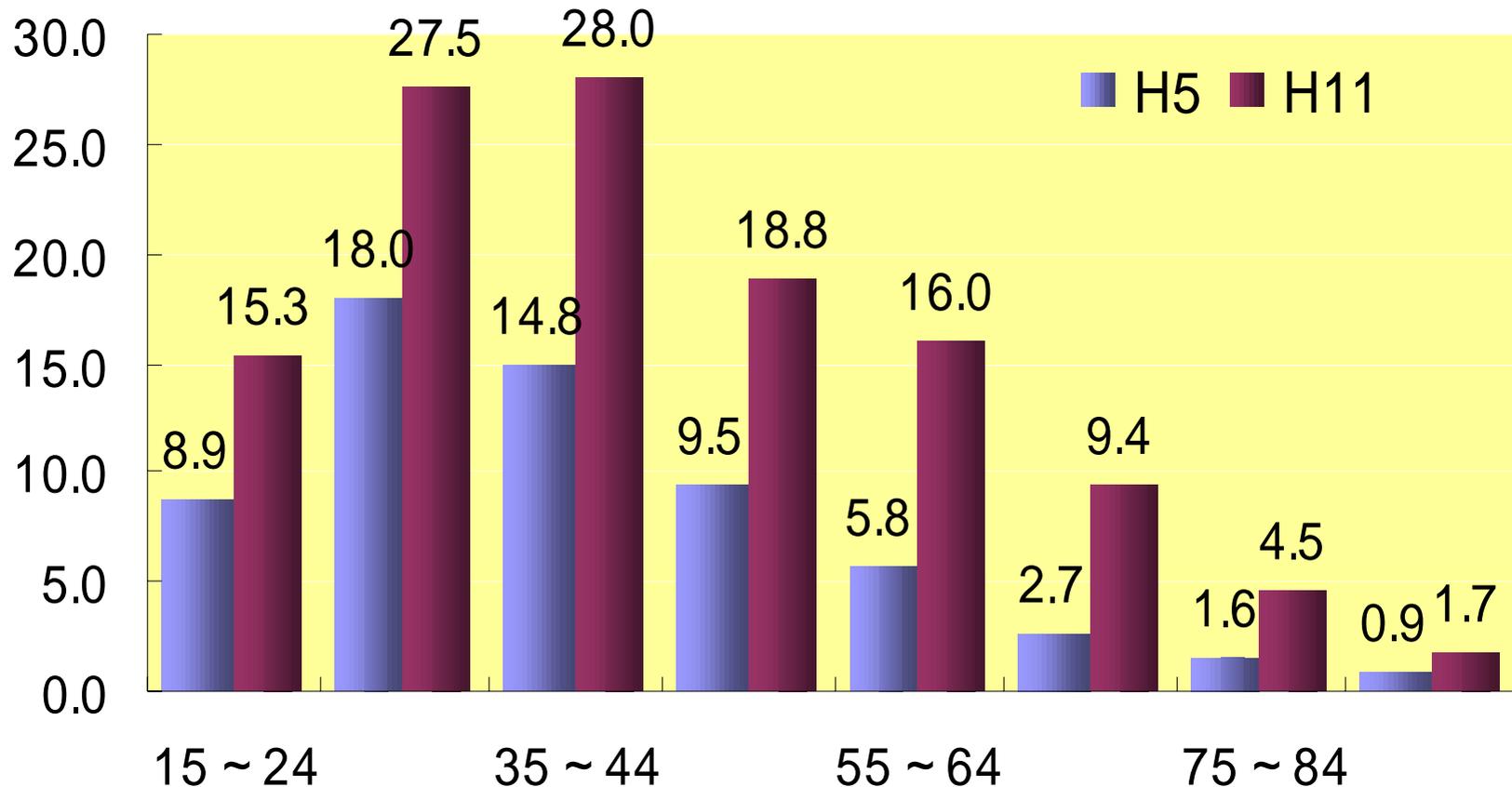
- ・ 禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようにする。

デンタルフロス・糸(付)ようじ使用率(男)



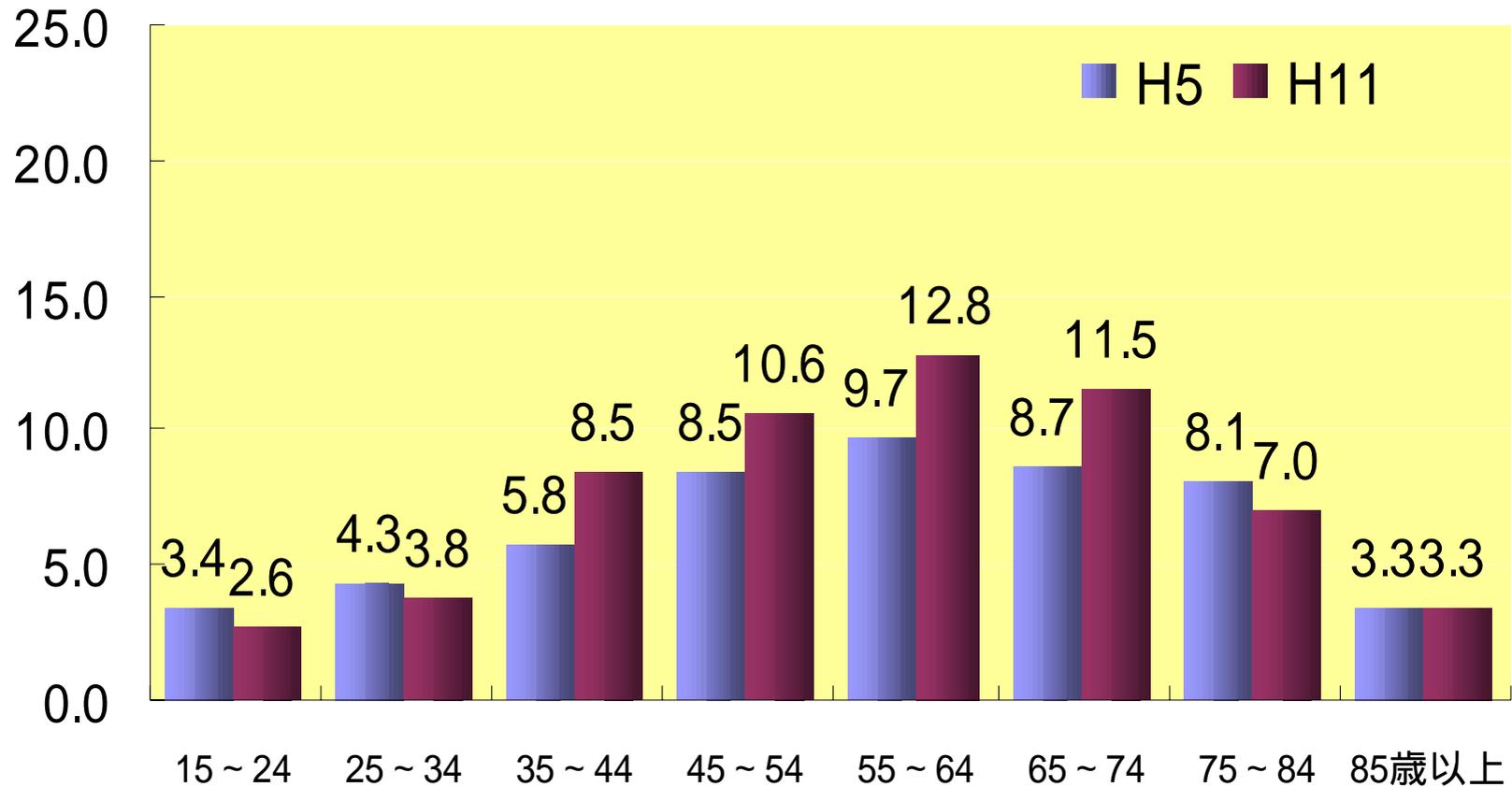
平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

デンタルフロス・糸(付)ようじ使用率(女)



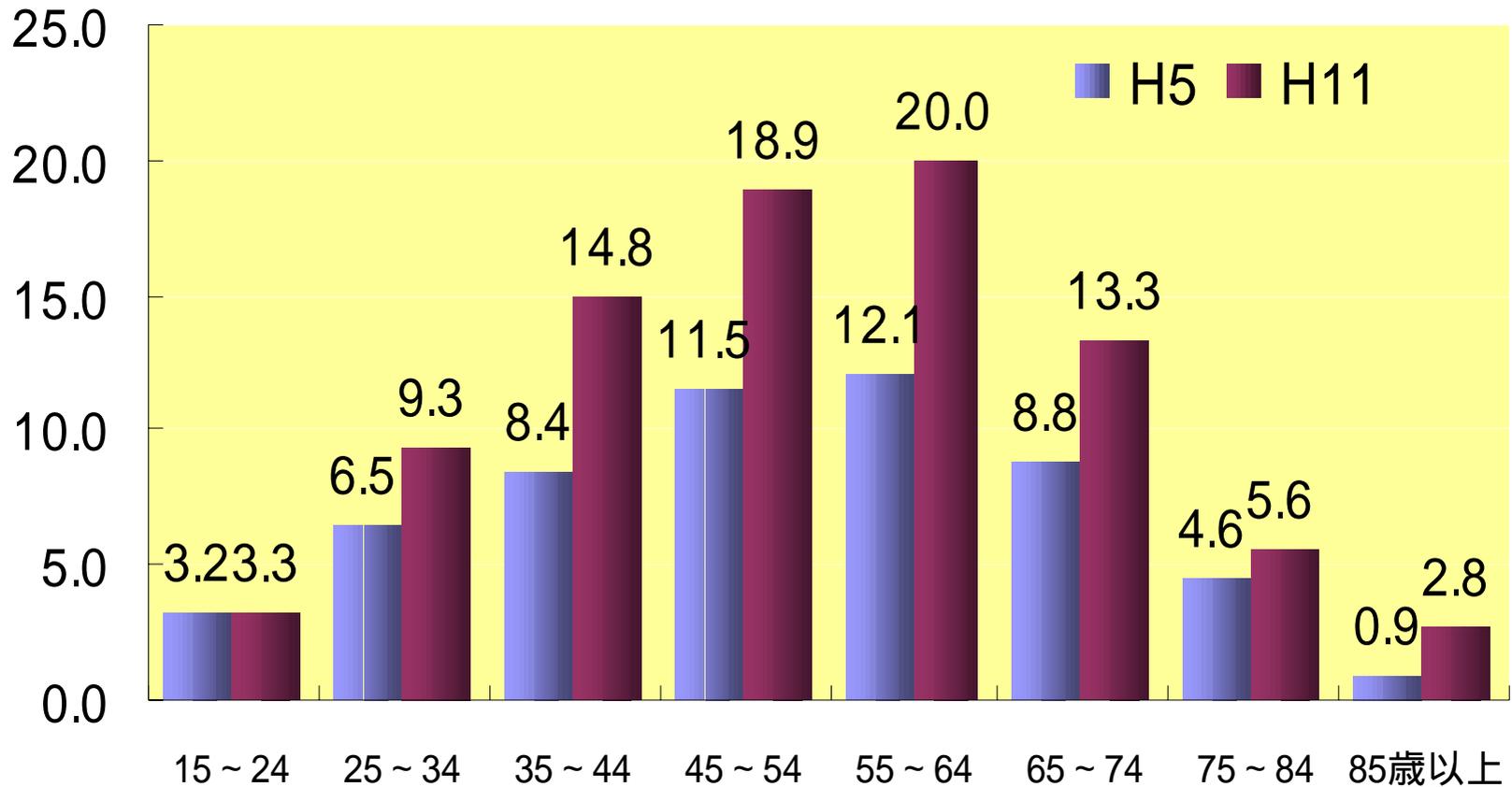
平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

歯間ブラシ使用率(男)



平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

歯間ブラシ使用率(女)



平成5年、平成11年保健福祉動向調査(歯科保健)

付 喫煙の歯肉への影響

喫煙が及ぼす健康影響

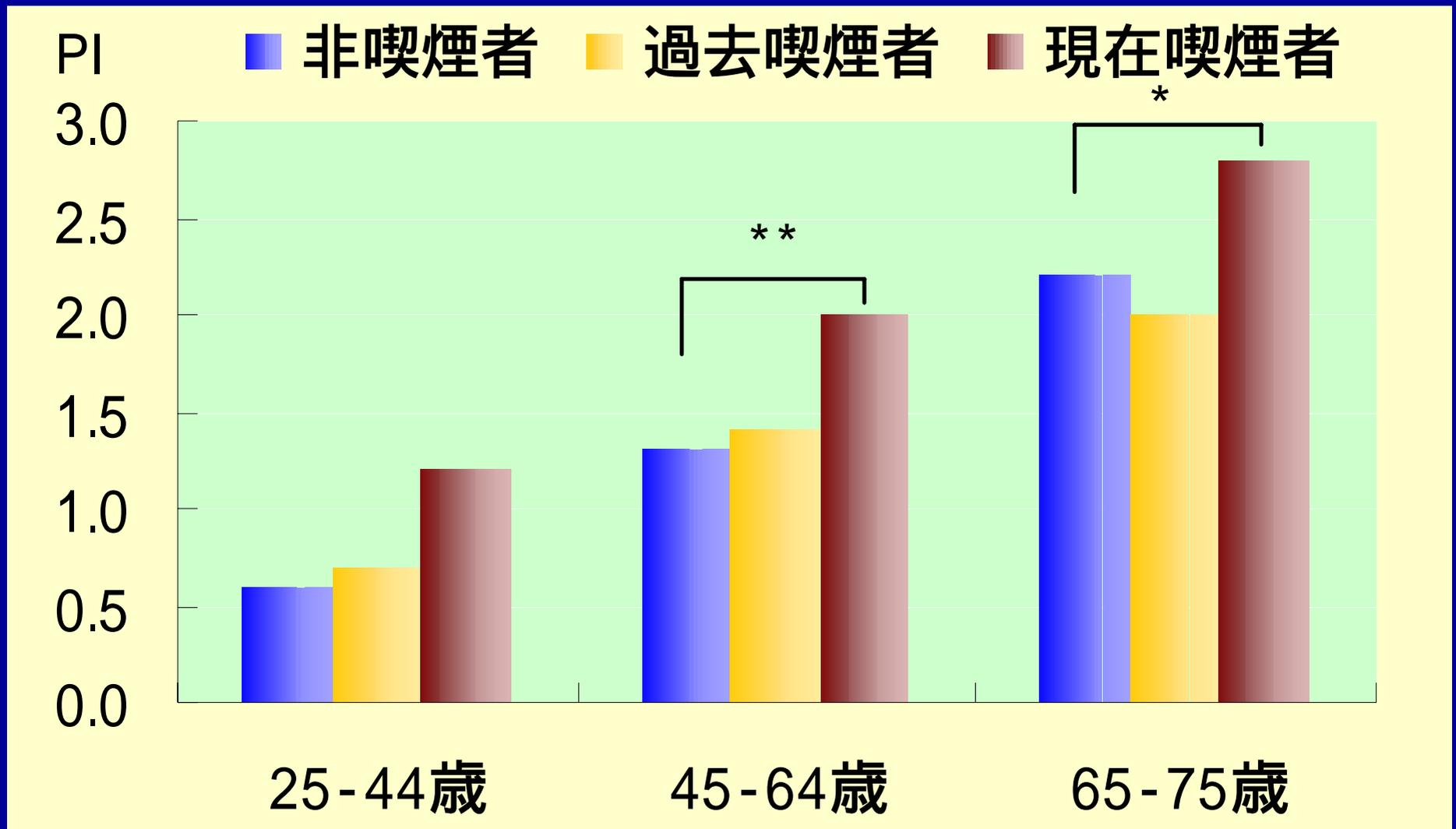
1 喫煙者は非喫煙者に比べ病気になる危険度が何倍高いのか

(5) 歯周病

Shizukuishi (1998)	2.1
Dolanら (1997)	1.9
Sakkiら (1995)	1.7
Brownら (1994)	2.7

(注) 数字は非喫煙者を1とした喫煙者の相対危険度

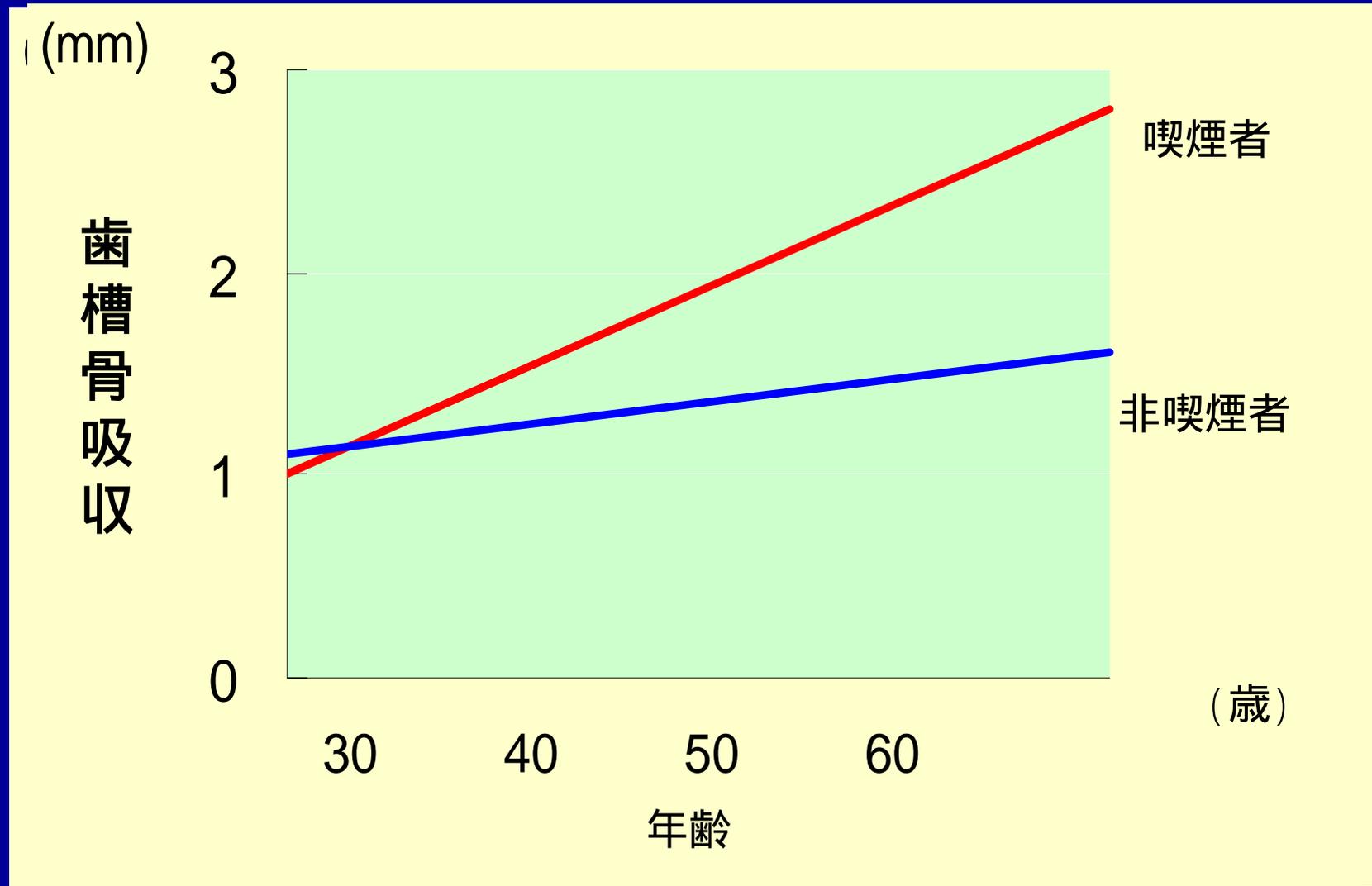
年代別の喫煙状況別の平均 Periodontal Index



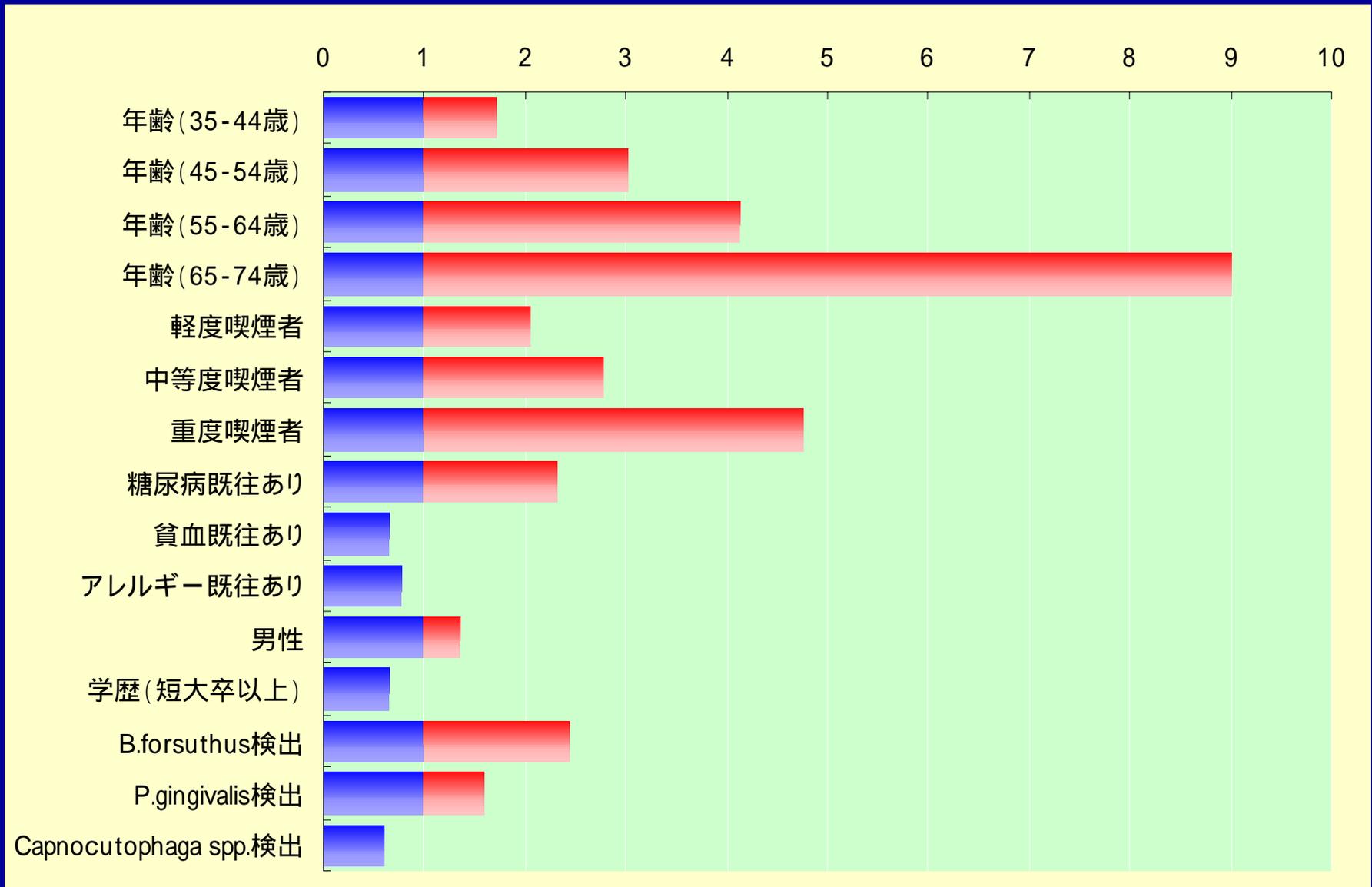
*: $P < 0.05$, **: $P < 0.001$

Ismail, A.I. et al, JADA, 106; 617-621, 1983

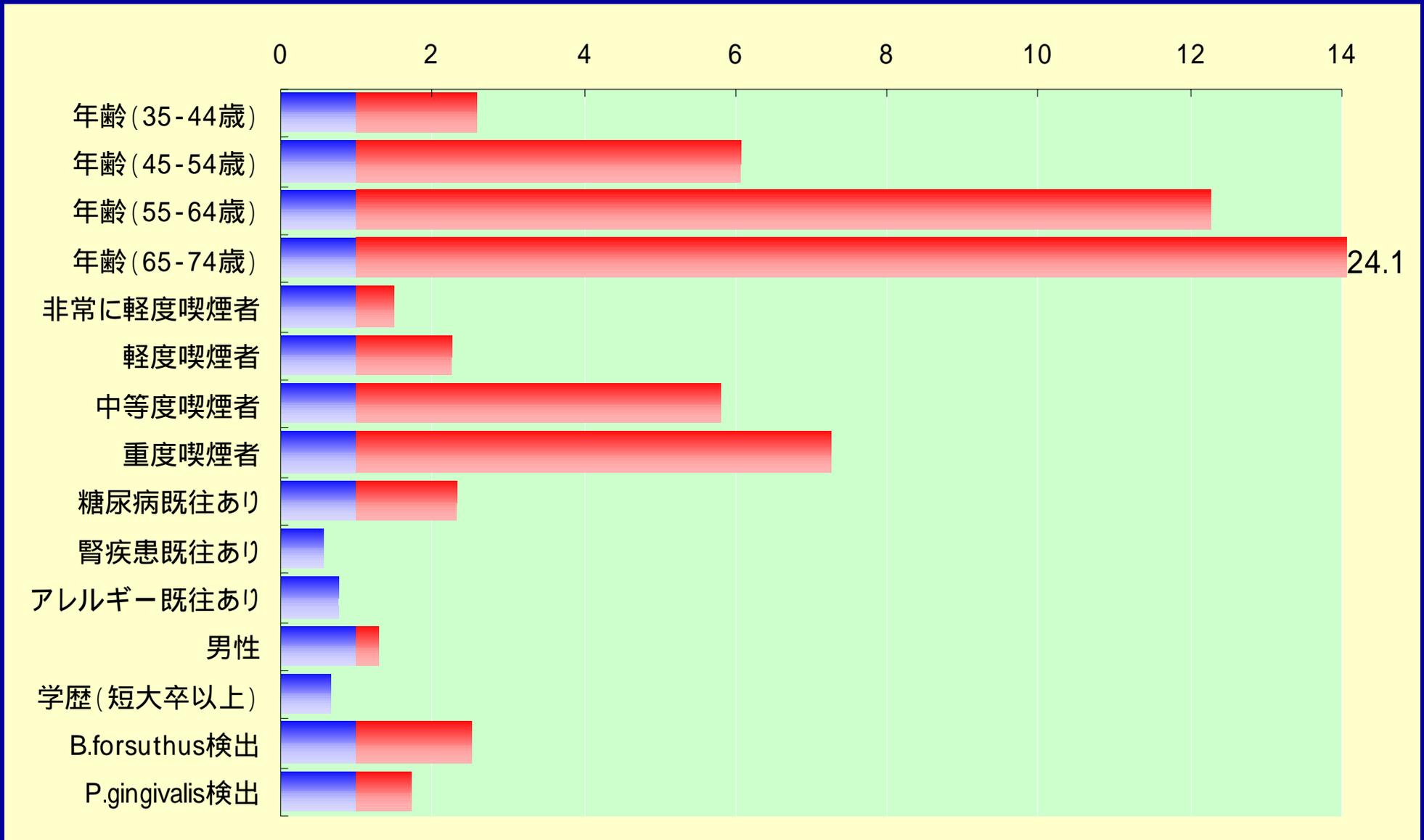
歯科衛生士の喫煙状況別の年齢・歯槽骨吸収(mm) 状況の回帰直線



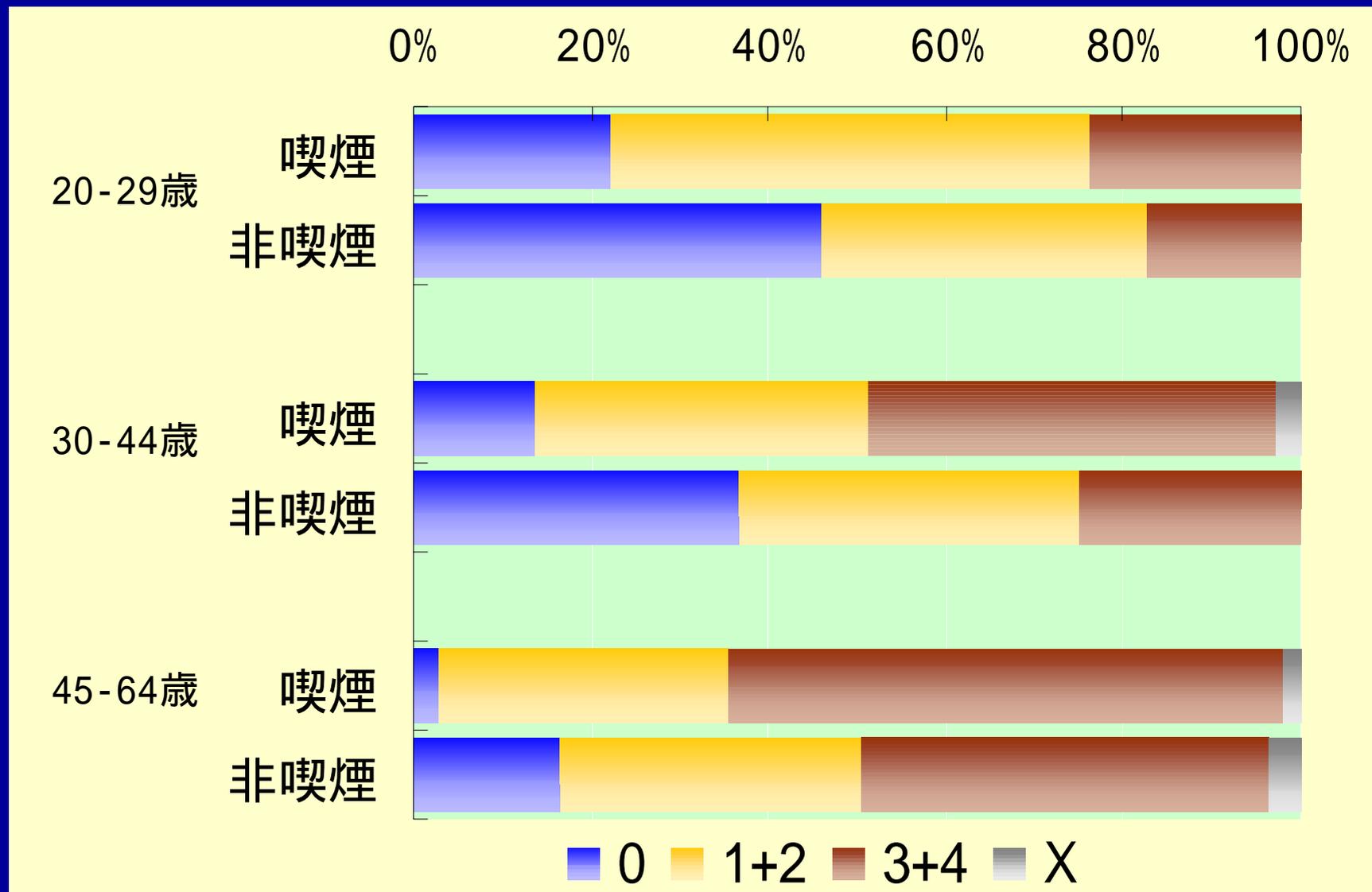
アタッチメントロスに対する歯周疾患リスクの分析結果(オッズ比)



歯槽骨吸収に対する歯周疾患リスクの分析結果(オッズ比)



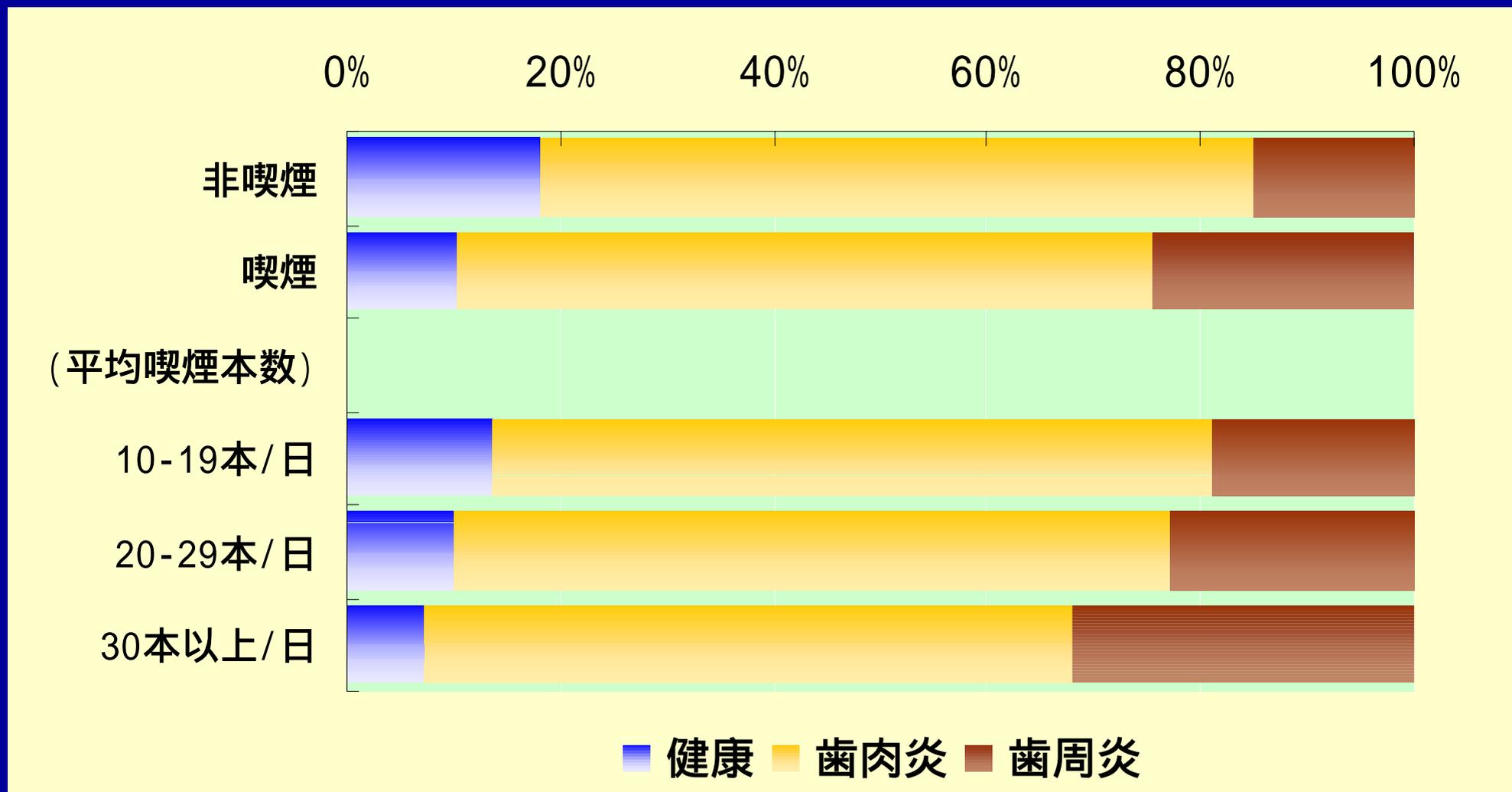
事業所男性従業員の喫煙習慣の違いによる歯周疾患有病状況



(最大CPIコードを示す者の割合)、

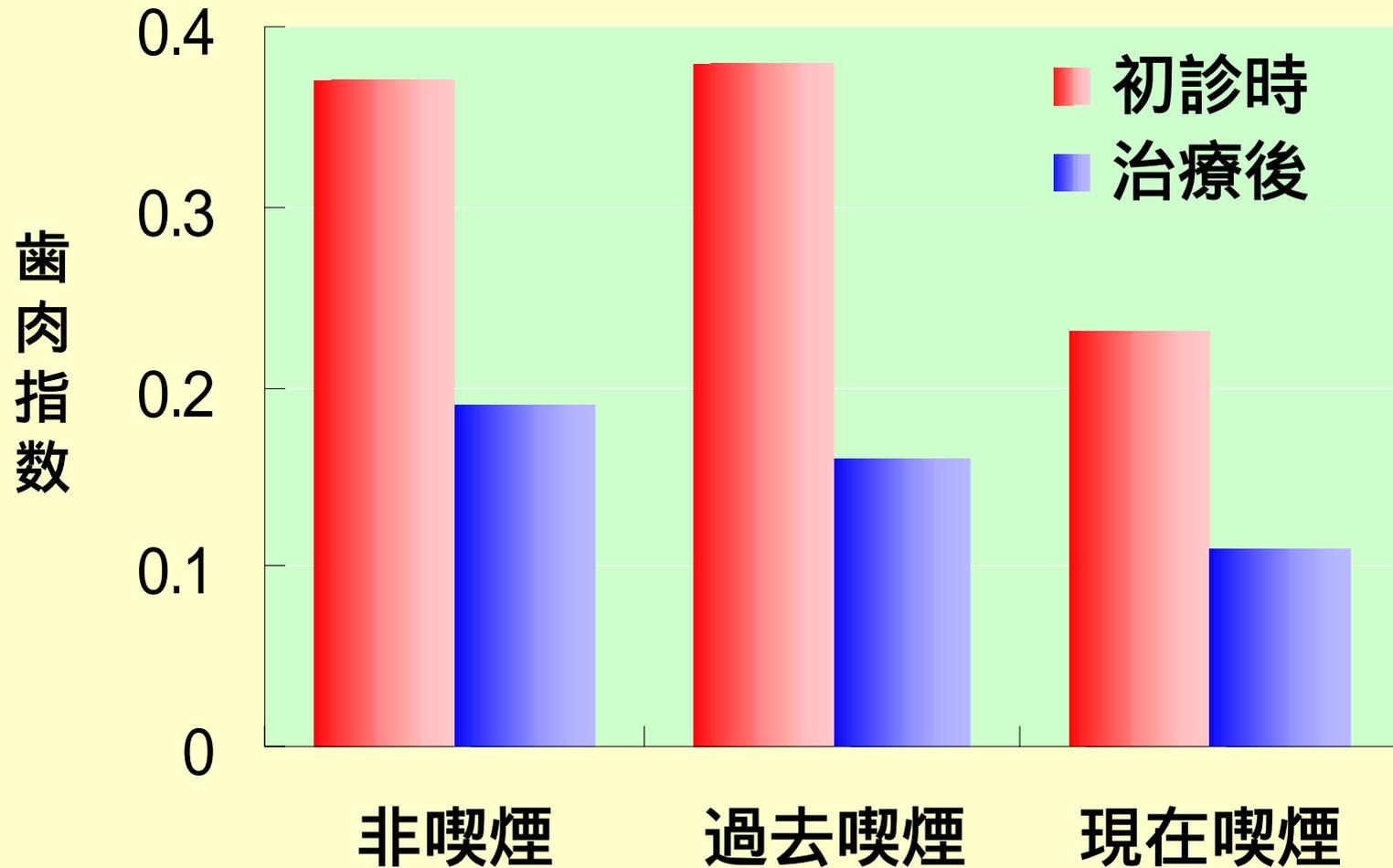
埴岡隆ら、日歯周誌、35;347-

事業所男性従業員における喫煙習慣・喫煙本数別の歯肉の状況



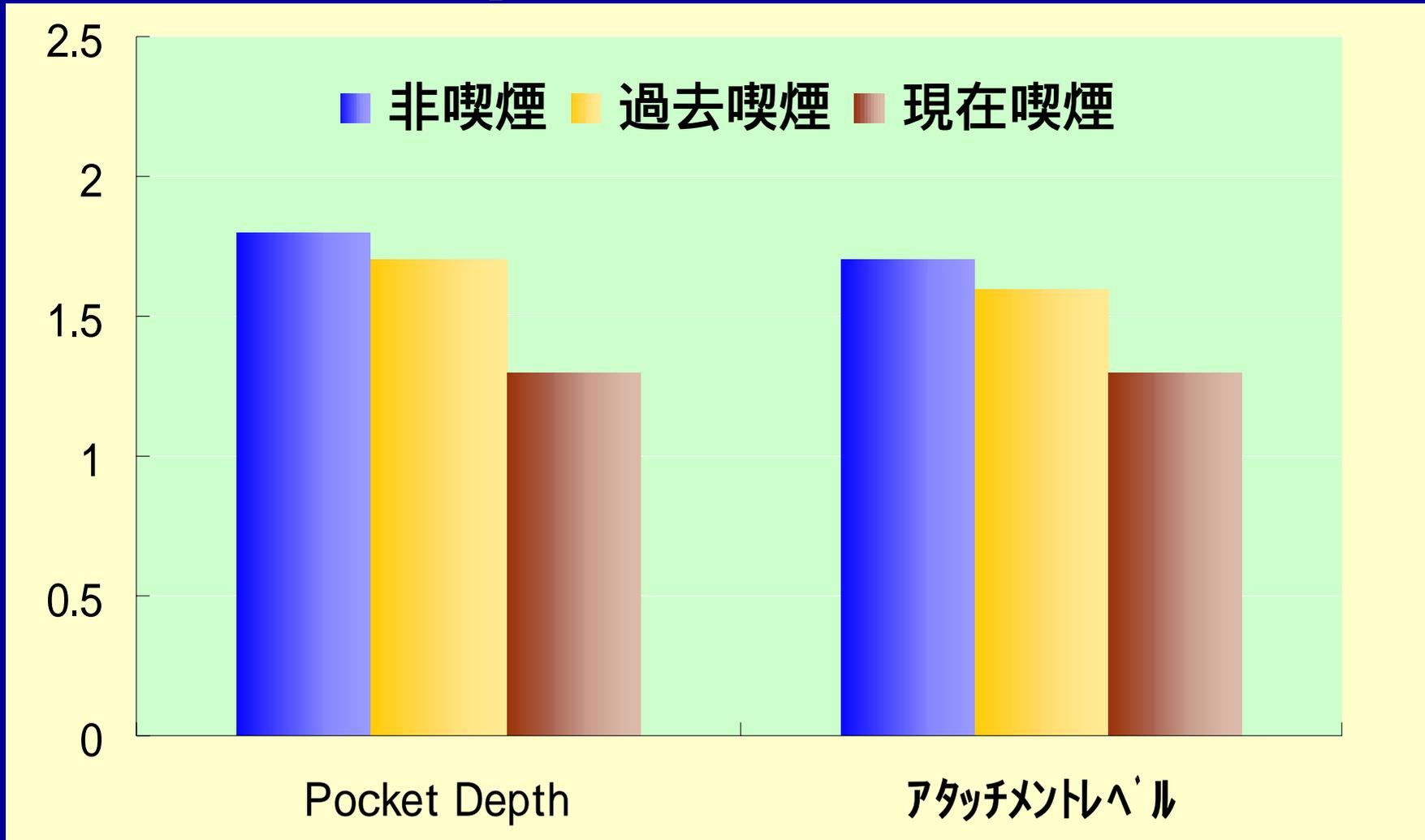
赤坂志磨子ら、日本歯科衛生士学術雑誌、25(1);52-53、1996.

喫煙状況別の歯周治療成績 初診時と3カ月後の歯肉出血指数



喫煙状況別の歯周治療成績

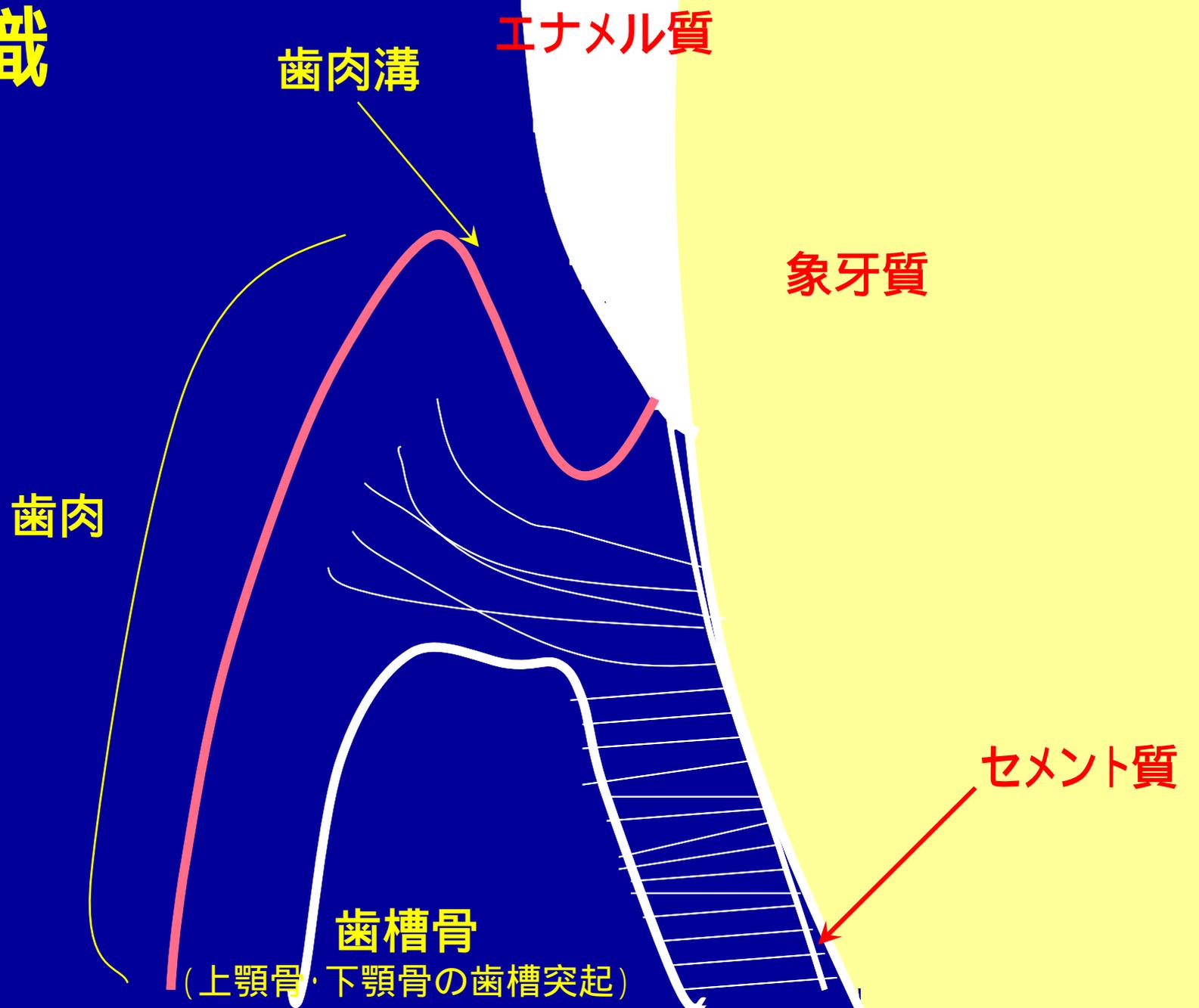
初診時と3カ月後のPocket depthおよび臨床的アタッチメントレベルの改善量(mm)



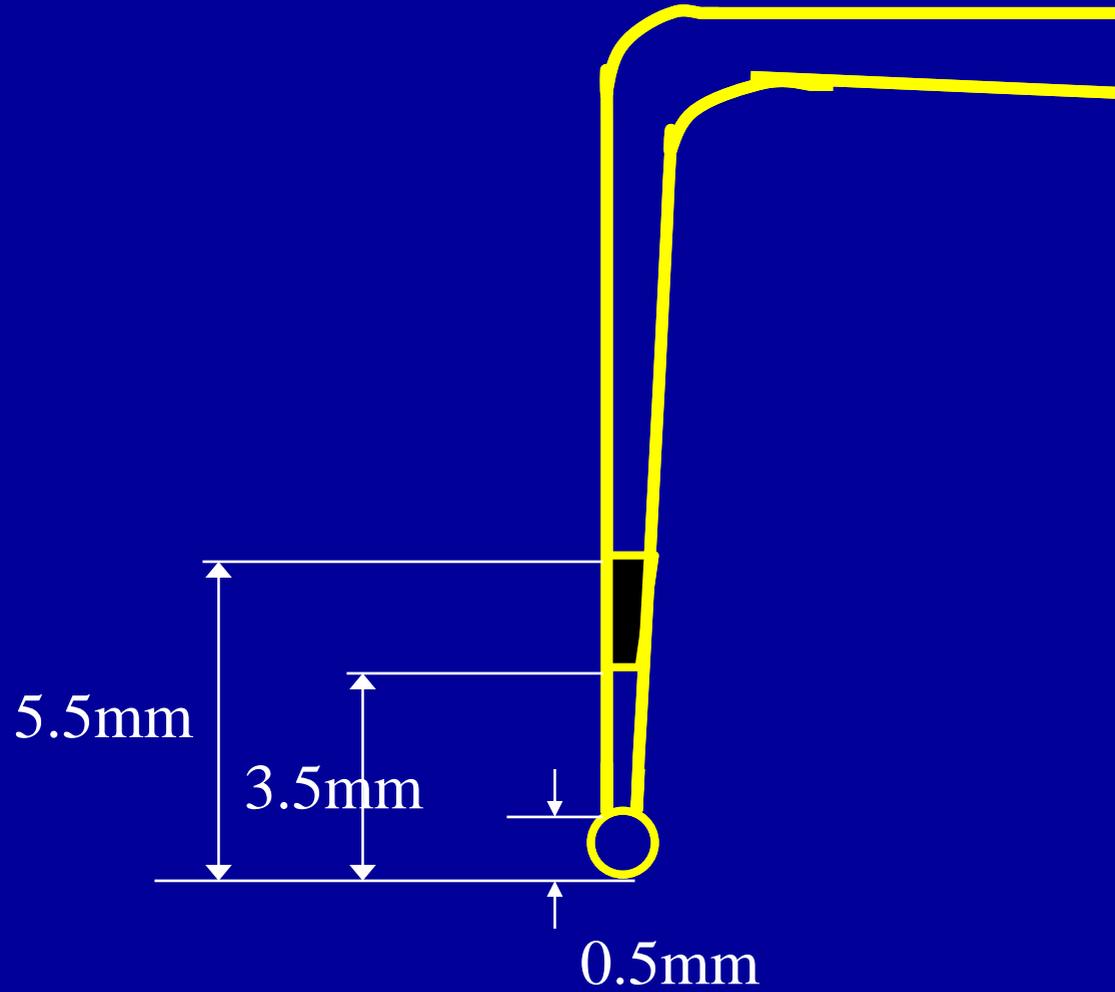
歯周疾患の評価法

CPI: Community Periodontal Index

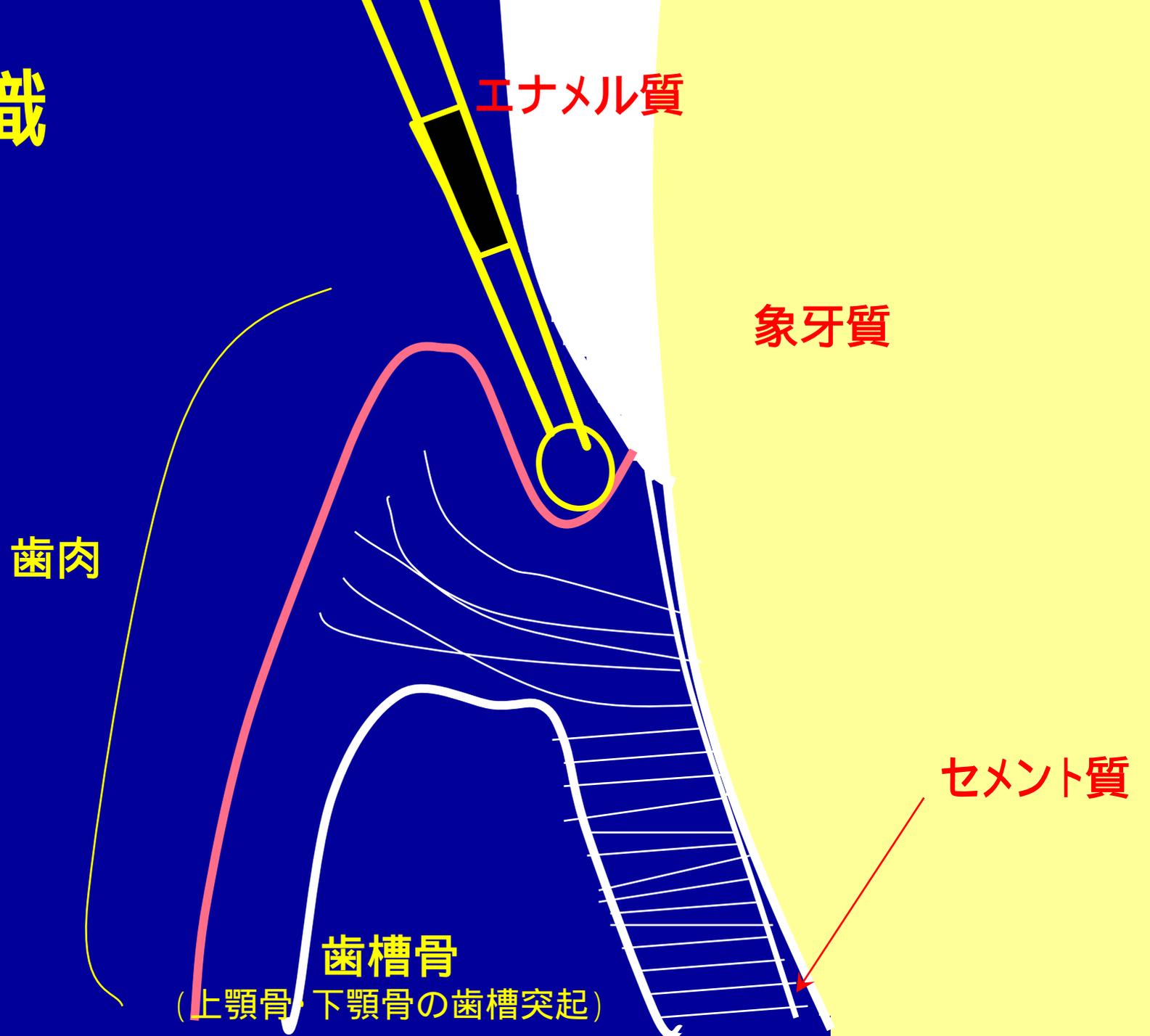
歯周組織



CPIプロ - ブ



歯周組織



歯周組織

歯周ポケット：
歯肉溝が病的に
深くなった状態

6mm以上

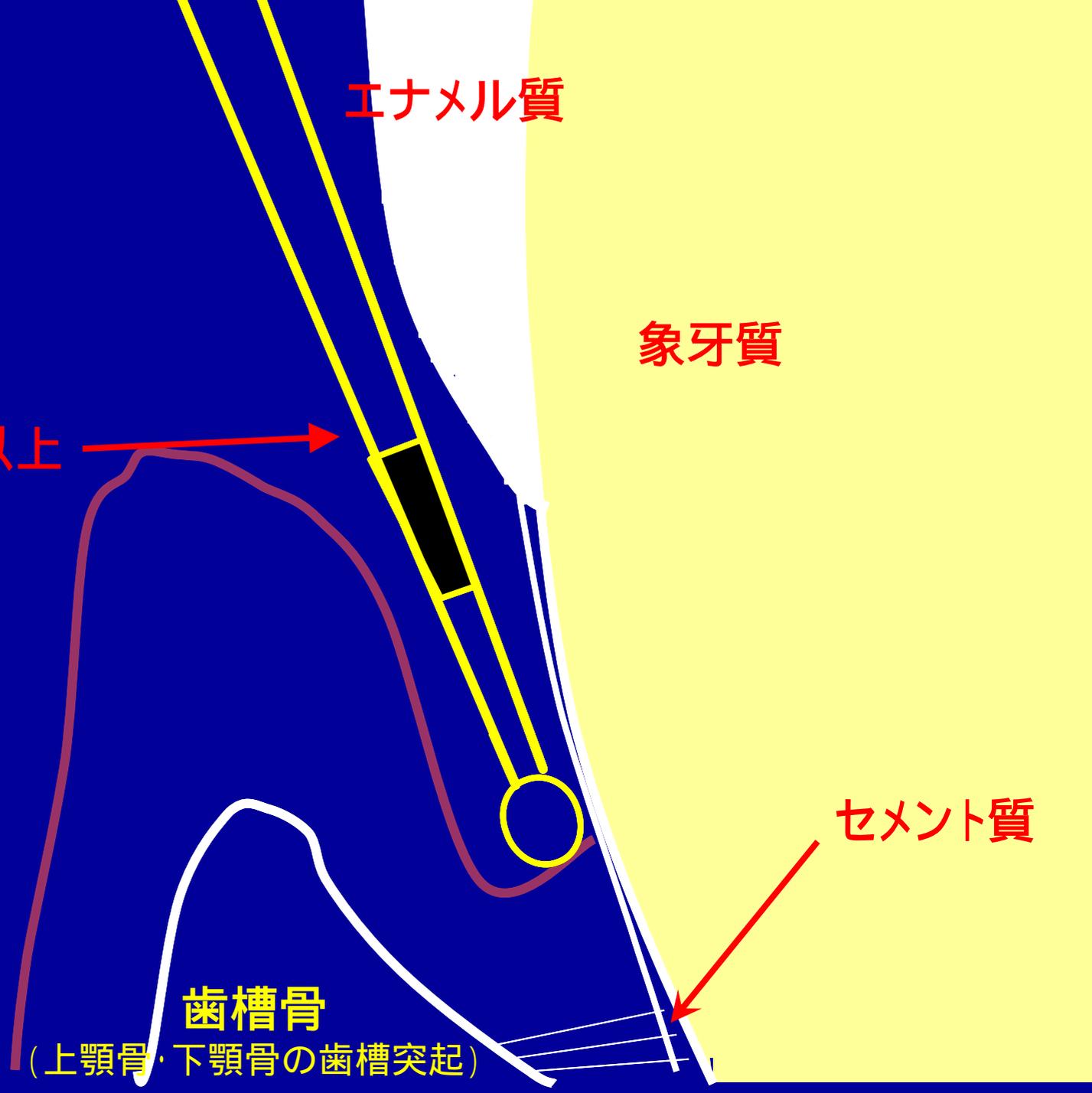
エナメル質

象牙質

セメント質

歯槽骨

(上顎骨・下顎骨の歯槽突起)



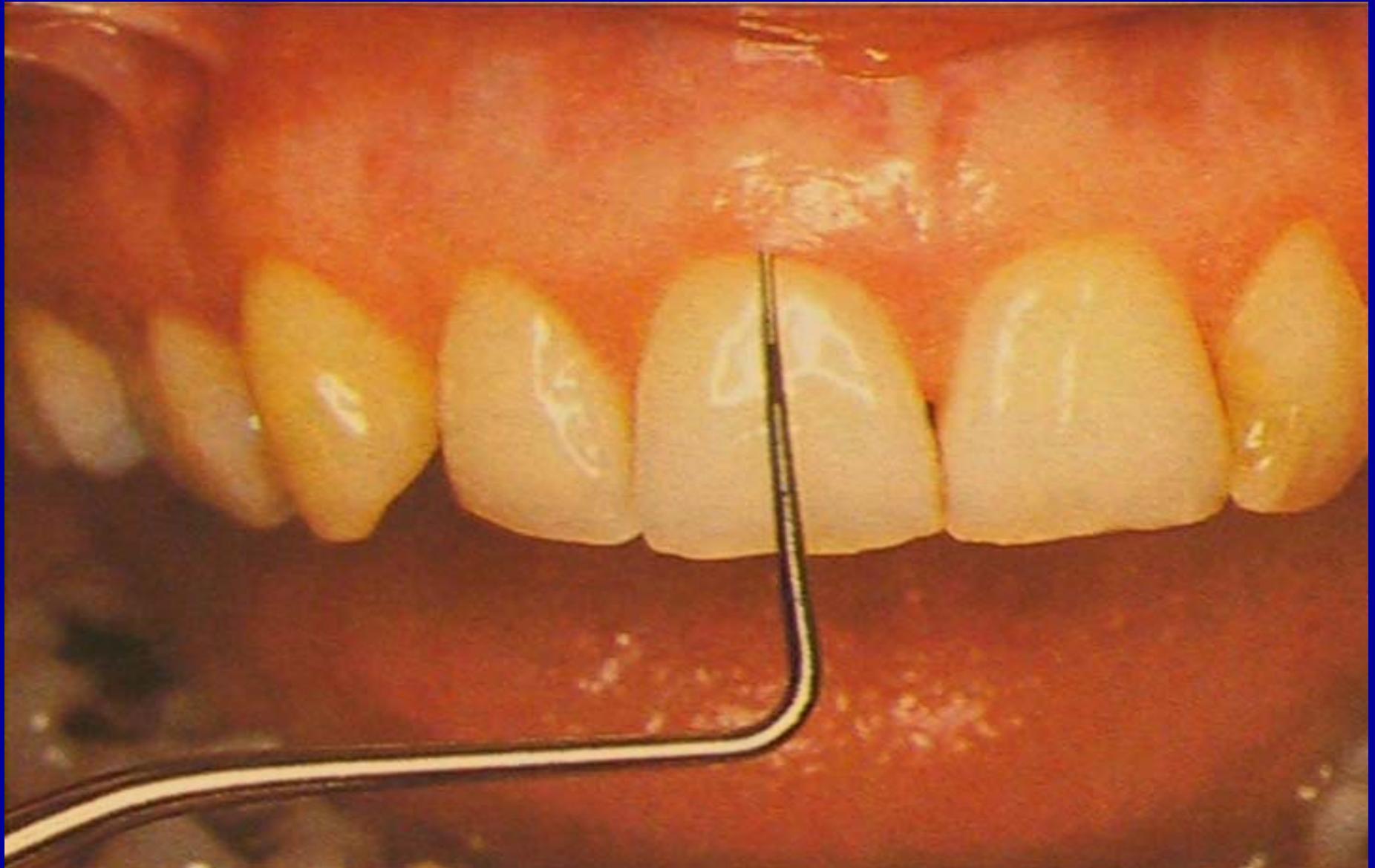
CPI code

- コード0 異常なし
- コード1 軽いプロ - ビング後の歯肉出血
- コード2 縁上または縁下歯石の沈着
- コード3 4 ~ 5mmの歯周ポケット
- コード4 6mm以上の歯周ポケット

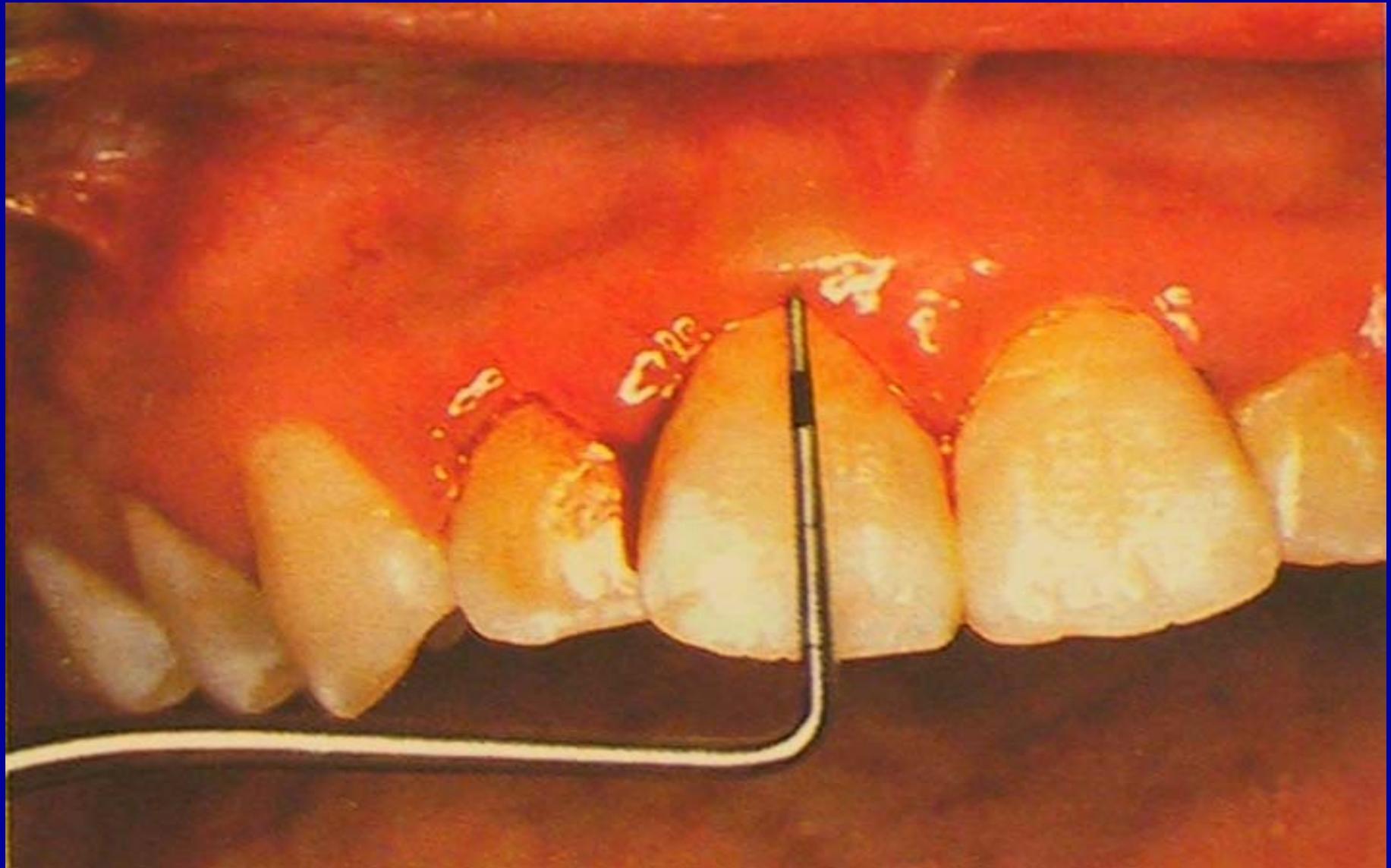
第1、第2大臼歯、右上中切歯、左下中切歯の歯周ポケットをプロ - ビング

上顎		
右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部
3	0	2
2	2	1
下顎		
右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部

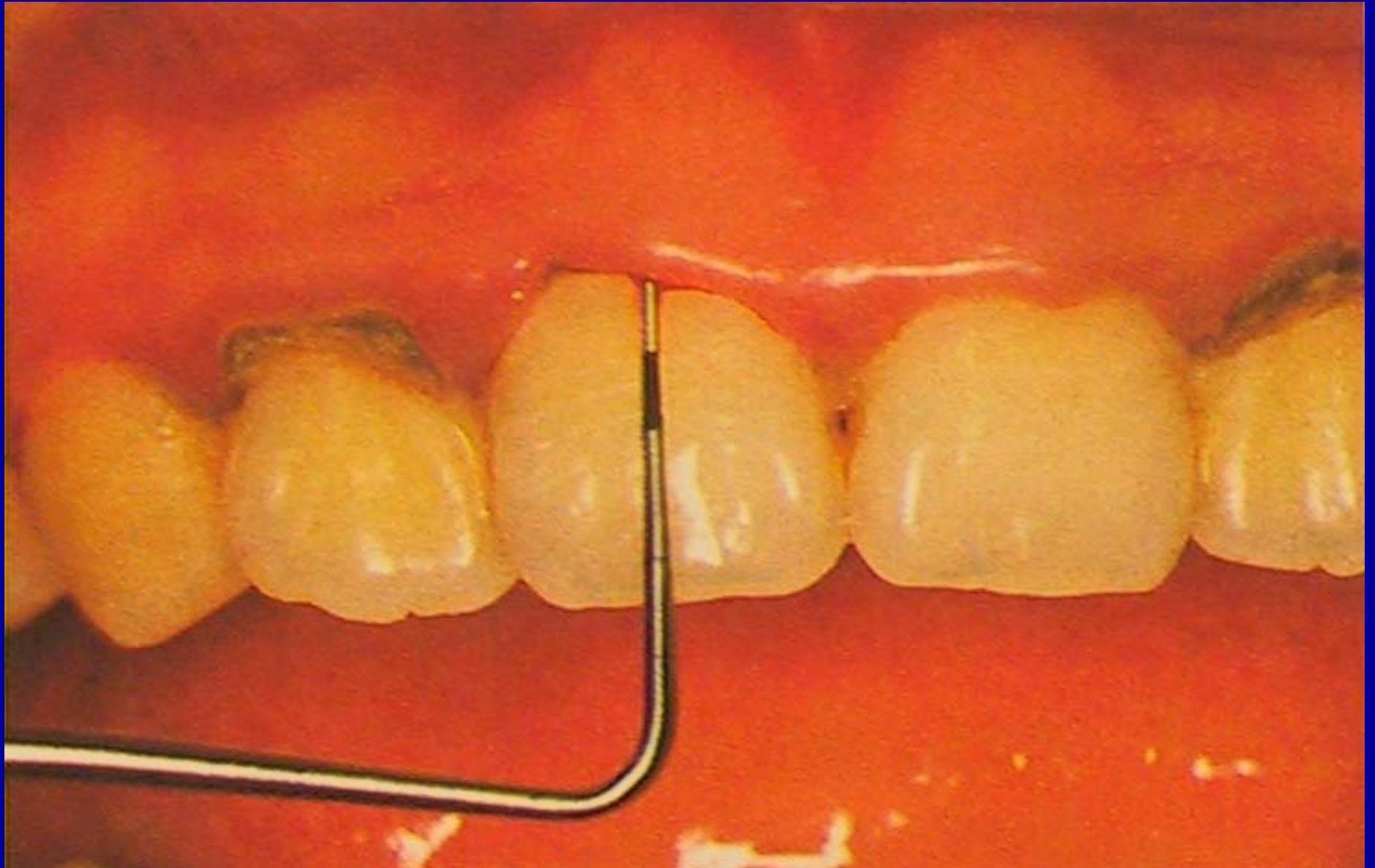
コード0 異常なし



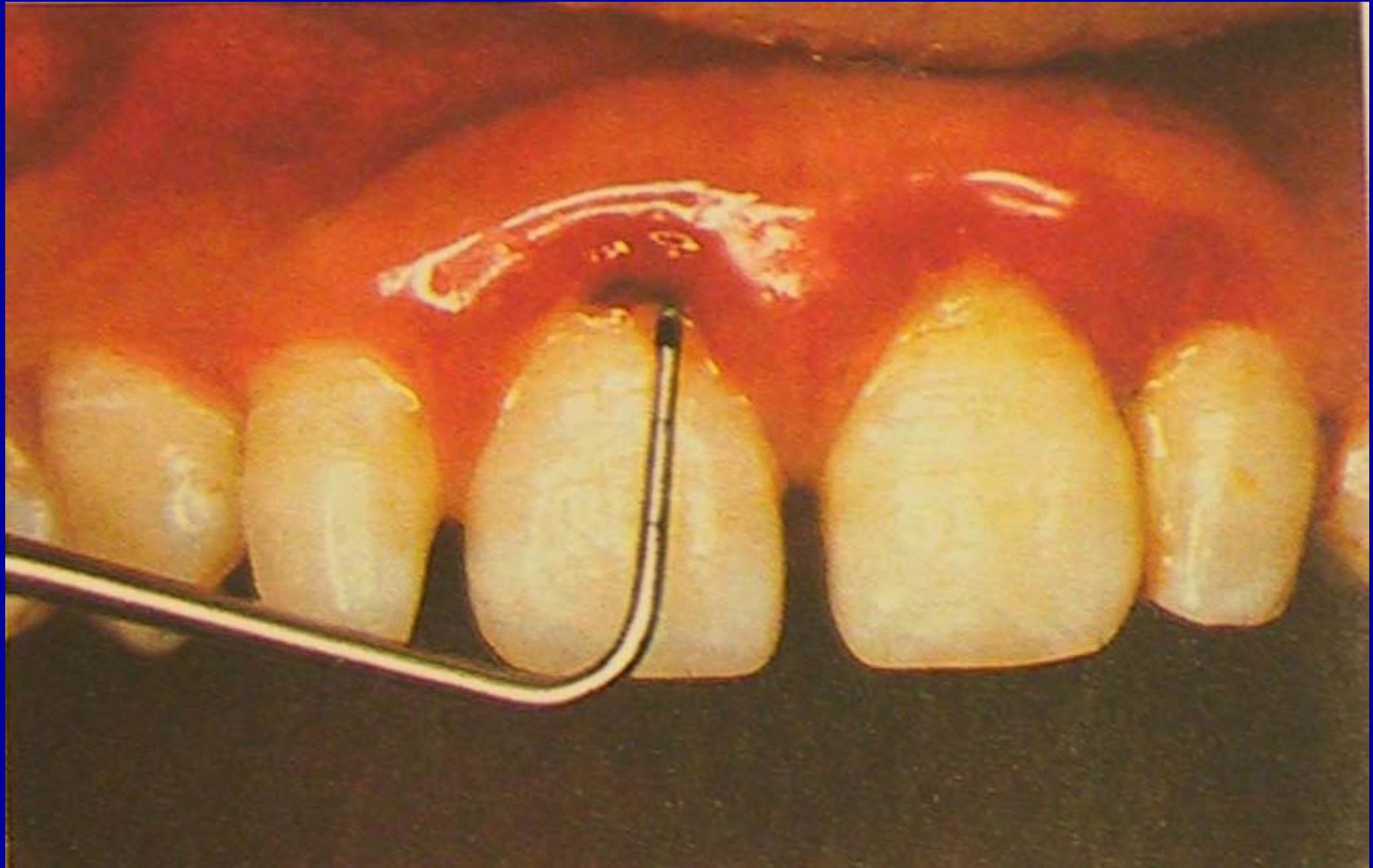
コード1 軽いプロ - ビング後の歯肉出血



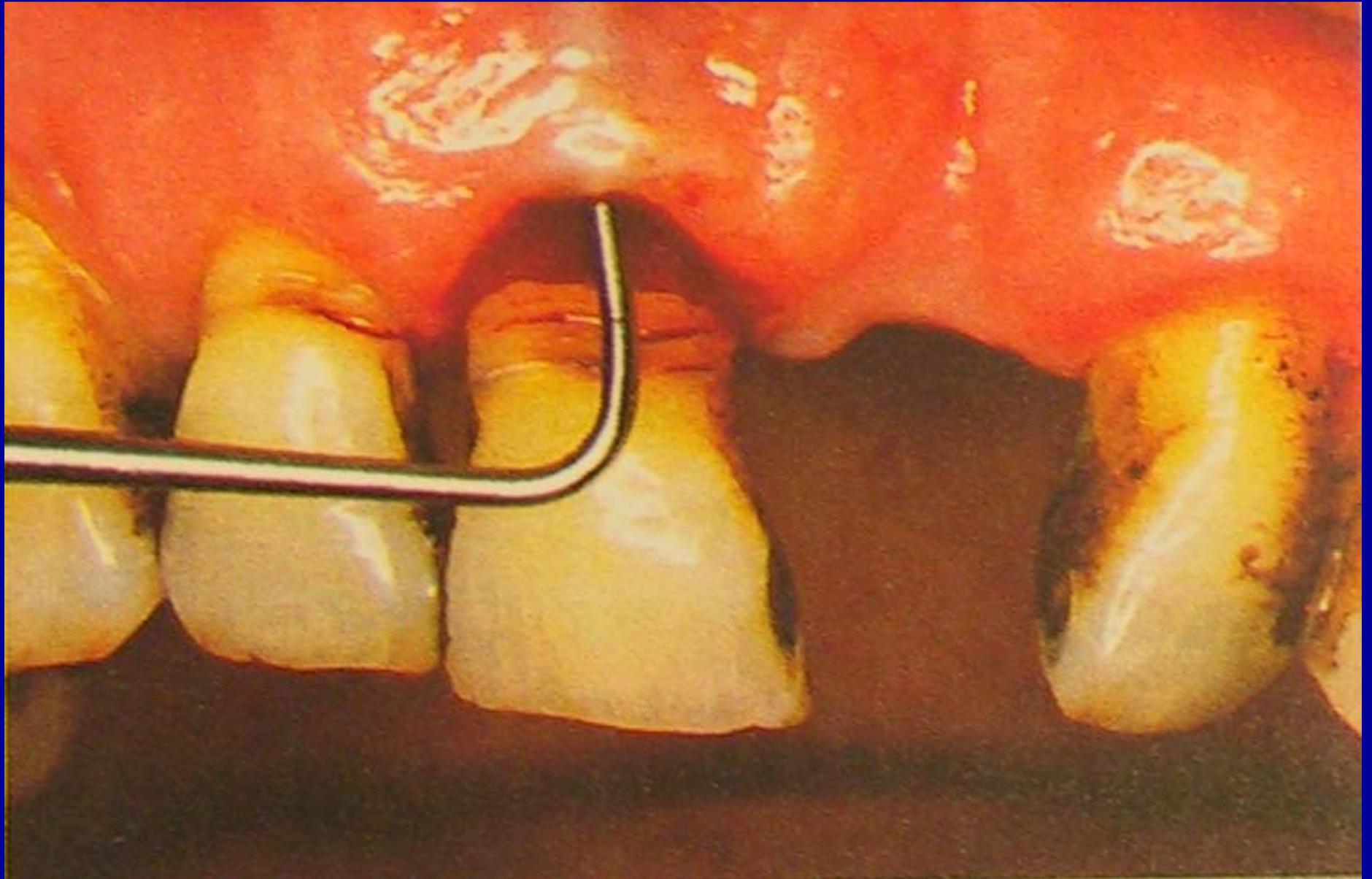
コード2 縁上または縁下歯石の沈着



コ-ド3 4~5mmの歯周ポケット



コード4 6mm以上の歯周ポケット



CPI code

上顎		
右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部
3	0	2
2	2	1
下顎		
右側臼歯部	前歯部	左側臼歯部

・個人最大コード = 3

・各コードのセクスタント数:

コード0	=	1
コード1	=	1
コード2	=	3
コード3	=	1
コード4	=	0
コードX	=	0

(コードXとは、そのブロックに計測できる歯が1本以下。)